

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様から、より信頼される組織となるように、情報発信、人権啓発、人材育成、業務改善に取り組みます。

総務課 設定者 課長 桂 健治

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
来庁者の利便性や満足度の向上につながる庁舎の改善を毎年度実施する。	来庁者や職員とともに取り組む庁舎環境の改善事業	来庁者や職員などから得られる庁舎環境改善に係る意見の中から、対応可能な改善項目については、予算などを勘案した上で、可能な限り速やかに実施する。	受付案内や電話交換の業務従事者から毎日報告される業務報告にある改善可能項目につき、即座に対応が可能なものは数日内に取り組むほか、日数を要するものについても二、三週間以内に取り組む。	<ul style="list-style-type: none">・執務室の温度が上がりやすい庁舎南側の一部に、遮熱ロールスクリーンを設置した。・照明制御装置更新工事の際に、一部スイッチ場所を移設し、視認性を向上させた。・本庁舎駐車場における逆走防止のための路面への矢印標示や、障害者等専用駐車スペースの掲示ボードを設置した。
行政手続の適正化と透明化を図るため、職員全体の法務能力を向上させる体制の整備を行い、併せて文書管理の適正化を推進する。	法務能力向上研修の実施並びに文書管理の改善業務	<ul style="list-style-type: none">・職員の法務能力を向上させるとともに、法令等の改廃情報等による迅速かつ正確な例規改正や更新を行うことにより、市民への迅速な情報提供が適正に行われている。・市の公文書の管理が、ルールに従い適正に行われている。	<ul style="list-style-type: none">・各所属の管理班長又は主任を対象とした法制執務研修を、令和6年3月までに実施する。・公文書の適正管理を推進するため、文書管理の巡回点検・指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none">・法制執務における能力向上を目的とした研修を令和5年11月に実施し、42課の担当者が参加した。・令和3年度から実施した文書管理巡回点検については、最終年度である令和5年度において、全159部署のうち、56部署で点検を実施し、当該結果に基づく指導を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様から、より信頼される組織となるように、情報発信、人権啓発、人材育成、業務改善に取り組みます。

秘書広報課 設定者 課長 村上 武史

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市長・副市長が円滑に政策判断・市政運営を行うことができるよう各種環境を整える。	スケジュールの管理（過密化の軽減）及び情報共有	優先度及び重要度を踏まえたスケジュールの調整により、重要案件にかかる協議時間を確保する。	市長・副市長の意向を随時確認し、関係部署との調整や政策判断に必要とする情報の収集・把握に努める。	状況に応じたスケジュール調整により、関係部署等との協議時間を確保するとともに、事前・事後の情報の収集・把握・提供に努めた。
広報紙、ホームページの内容を充実させ、市民に分かりやすい情報発信ができるよう努めるとともに、公式LINEなどを活用して積極的な情報発信を行う。	市民が広報紙・ホームページに容易にアクセスできるよう、公式LINEなどを活用して積極的に情報発信する。	公式LINEでの情報発信件数を増やし、市政情報を積極的に発信する。	市の施策やイベント情報を公式LINEで年間350件以上行う。	公式ラインで毎週木曜日に週末のイベント情報の発信を開始。広報紙に関するアンケート調査(約400人聞き取り調査)を実施。公式ラインへの加入者を増やすため、母子モでのプッシュ通知による加入案内を実施。ラインで発信した情報は、350件以上となっている。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様から、より信頼される組織となるように、情報発信、人権啓発、人材育成、業務改善に取り組みます。

職員課 設定者 課長 活田 浩久

課の使命又は目指す姿【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
将来にわたって質の高い行政サービスを提供できる組織を構築する。	複雑多様化する行政課題に的確に対応するため、組織体制の最適化を図る。	第3次岩国市総合計画の着実な実施とより質の高い行政サービスを提供していくため、効率的かつ効果的な組織づくりを推進する。	①組織改編後の課題の洗い出し ②関係部署との検討・協議 ③最適化に向けた取組	組織改編後の課題等に関する各部局長からのヒアリング結果等を踏まえ、令和6年度に向けて組織体制の最適化を図った。
一人ひとりの職員が持つ能力を最大限に発揮し、組織力の向上を図る。	「岩国市人材育成基本方針」に掲げる「めざす職員像」の実現に向け、「人材の確保」・「職員の能力開発」・「人材マネジメント」を総合的に推進する。	・優れた能力や資質を有する職員の確保 ・「岩国市職員研修計画」の着実な実施 ・OJTや人事評価を活用した職員の育成	①職員採用に関する取組の強化（情報発信・多様な採用方法の実施等） ②若手職員の早期戦力化 ③キャリア形成に沿った人材育成 ④人事評価制度の見直し	・本市の「めざす職員像」にマッチした優秀な人材を確保するため、「アピール型の新設」や「職務経験者採用の見直し」等を行い、新規採用者の確保に努めた。 ・OJTを柱とする職場研修に加え、「接遇研修」や「安全運転講習」等を実施し、若手職員の育成強化に努めた。
	すべての職員が活躍し能力を発揮できるよう職場環境を整備する。	・働き方改革の推進 ・定年の引上げを踏まえた計画的な人事管理の推進	①多様で柔軟な働き方の検討 ②高齢期職員の活躍推進	・定年引上げを踏まえ、60歳以降もモチベーションを維持し、やりがいを持って業務を担ってもらうため、「セカンドキャリア研修」を実施し、高齢期職員のマインドセットに努めた。 ・「ワーク・ライフ・バランス推進研修」や「キャリアデザイン研修」を実施し、職場全体で働き方改革を推進していく意識の醸成を図った。
質の高い行政サービスを提供する。	効率的・効果的な行政経営を推進する。	・給与等の適正化 ・業務の効率化や業務改善の推進	①定員の適正管理 ②国・県・近隣市との均衡を考慮した給与等の見直し ③研修を業務にフィードバックする取組の強化 ④DXを活用した業務改善	・人事院勧告や山口県人事委員会勧告等を踏まえ、職員の給与と改定を行うとともに、令和6年度から会計年度任用職員に勤勉手当を支給可能とするなど、給与等の適正化を図った。 ・職員が常に「DXの活用」を意識し、業務改善を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様から、より信頼される組織となるように、情報発信、人権啓発、人材育成、業務改善に取り組みます。

人権課 設定者 課長 岡原 隆光

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
人権尊重に関する人権教育・啓発の推進	人権教育・啓発に関する研修、講座、イベントの実施	講座参加者の満足度、理解度が上がるように、内容の充実を目指す。(R5年度80%、R6年度80%以上を維持する)	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育・啓発指導者養成講座(7月) 人権教育・啓発指導者研修会(8月) じんけんフェスタ(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育・啓発指導者養成講座参加者の理解満足度は目標の80%を達成。 じんけんフェスタでは中高生徒の作品が多数寄せられた。また高齢者の人権をテーマにした記念講演に多数の受講者が参加。
男女が共に個性や能力を発揮することができる共同参画社会づくりの推進	岩国市女性活躍推進計画の推進	岩国市内におけるワークライフバランスに取組む事業者の登録数を増やす。(103社から105社へ増)	市内事業者に対しアドバイザー派遣事業を実施	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業3社にアドバイザー派遣を実施。 ワークライフバランスに取組む事業者の登録数108事業者 商工振興課と共同で女性の再就職支援にむけたセミナーを実施
男女が健康で安心・安全に暮らせる社会づくりの推進	岩国市DV対策基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> DV相談窓口の周知を図り、市民に寄り添い相談に対応する。 DV防止に向けた取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 広報やホームページ、SNS等あらゆる機会を通じた相談窓口の周知 DV防止にむけた講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 10月の女性に対する暴力をなくす運動の一環として、JR岩国駅西口と錦帯橋のパープルライトアップを実施。 JR岩国駅にて相談窓口などの周知を図る街頭啓発行動を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様から、より信頼される組織となるように、情報発信、人権啓発、人材育成、業務改善に取り組みます。

契約監理課 設定者 課長 藤澤 政博

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
公平、公正で適正な入札・契約事務の執行	公平、公正な入札制度	入札の透明性及び効率化の向上	入札及び契約事務の電子化の検討・推進、入札制度の構築及び関係機関等との連携	<ul style="list-style-type: none">・建設工事及び建設工事に係る業務委託については、電子入札の安定的な運用を継続している。・今年度は契約事務において、電子保証の運用を開始し、業務効率の向上に努めた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様から、より信頼される組織となるように、情報発信、人権啓発、人材育成、業務改善に取り組みます。

用地課 設定者 課長 沖村 雅洋

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民ニーズを適切に捉え、円滑に用地の取得を図る。	<ul style="list-style-type: none">・ 担当者の経験・知識の蓄積とスキル向上（自己学習・職場研修・職場外研修の実施）・ 事業担当課との連携・協力・ 適正な補償金の算定	<ul style="list-style-type: none">・ 地権者の不安を解消するよう分かり易く丁寧な説明を行う。・ 事業担当課と情報を共有し、適正かつ迅速に用地を取得する。・ 補償基準に基づき適正な補償金の算定を行う。	<ul style="list-style-type: none">・ 国土交通省、山口県、民間が開催する研修会への参加（随時）や説明資料の作成・ 用地交渉マニュアルの更新・ 事業担当課にヒアリングを実施（5月）・ 不動産の適正な評価を行うため、不動産評価委員会を開催（毎月）	<ul style="list-style-type: none">・ 不動産評価委員会において用地取得に係る14議案を提案し、価格の承認を受けた。・ 各事業の担当課から依頼を受けた9件の用地取得を円滑に行った。・ 各総合支所の5件の用地取得案件について、用地交渉及び土地売買契約に同行した。
地図情報システムを更新し、適正な情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none">・ 地図情報システムの適正な運用・ 地籍調査関係資料の適正な管理	<ul style="list-style-type: none">・ 定期的に地図情報を更新し、常に新しい情報を保持する。・ 提供する地図情報の実効性について正しく説明する。・ 老朽化した地籍調査関係資料を保全、整備する。	<ul style="list-style-type: none">・ 地籍調査完了地区の地図データの取り込みやアンマッチデータの修正を適切に処理する（通年）。・ 地図情報の実効性について正しく伝えられる方法を検討し、その周知を図る。・ 地籍調査関係資料のデジタル化を進める。	<ul style="list-style-type: none">・ 地籍調査の結果、新たに国からの認証を受けた錦町大原地区の一部（約100筆）の地籍図データを地図情報システムに取り込むほか、アンマッチデータの修正を行った。・ 問い合わせに際して、提供する地図情報の実効性を確実に伝えた。・ 地籍調査関係資料の実情を把握し、一部保存方法の改善を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部（危機管理担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 危機管理監 榎原 裕司

「逃げ遅れゼロ」の実現に向けた取組を推進します

危機管理課 設定者 課長 廣田 雅之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
事前に予見できる災害については、発生前に早めの避難を促す。	災害発生の予測	気象情報を収集し、より簡便な方法で災害発生を予測することにより、避難情報を迅速に発令する。	地域の地質や植生等を調査することにより、雨量指標R'の精度向上と運用面の改善を図る。	地質や植生等の調査はできなかったが、雨量計のデータをR'に反映したことからの、精度の向上につながった。
災害の種別ごとに発生前、発生直後、発生後の局面に応じた対応を行う。	災害対応力の向上	災害対策本部と総合支所、避難所、消防・警察・県土木事務所などの関係機関と情報共有を行い、組織的に災害対応が行える体制を構築する。	市と消防団や消防、自主防災組織とが連携して、河川氾濫や土砂災害を想定した訓練を実施する。	市が主催する防災訓練は実施できなかったが、防災機関が実施する訓練等に参加し、連携の強化を図った。
	自主防災組織の育成・強化	自主防災組織や消防団による避難支援が行われ、住民が助け合って避難する。	自主防災組織を対象とする研修を行うなどして、避難情報・防災情報の収集方法や防災に関する市の考え方等の理解を図る。	地域防災リーダー研修や防災講和の実施により、市の防災対策について理解を深めた。
大災害発生後における中長期避難所を安定的に運営する。	避難所の運営体制の検討	避難生活を送るための生活環境が整備されている。	運営に当たっての全体的な課題を整理し、自主防災組織による運営について検討するとともに、必要な非常食や資機材等を引き続き整備する。	自主防災組織による避難所の自主運営まで至らなかった。備蓄品の配備については、今後の配備方針について整理した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な財政運営を行うとともに、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進め、質の高い行政サービスを提供することで、市民満足度の向上を目指します。

政策企画課 設定者 課長 賀屋 和夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
総合計画の将来像の実現に向け、効果的な施策を計画的に推進する。	総合計画の基本目標に沿った施策を計画的に推進していくため、まちづくり実施計画を策定する。	投資政策的経費の一般財源の範囲内で、重要度、緊急度、事業効果等を勘案し、総合計画や総合戦略に掲げる施策の実現に資する事業を優先的に採択する。	総合計画や総合戦略における事業の位置付け及び優先度・緊急度を明らかにする。財政フレームの投資一般財源の範囲内で事業を選択する。	総合計画や総合戦略に位置付けられている事業について、投資政策的経費の一般財源の範囲内となるよう、優先順位の高い事業を採択した。
総合計画及び総合戦略に掲げる目標を達成するため、進行管理を厳格に行う。	総合計画や総合戦略における各種取組に対する進捗を検証し、その状況を公表する。	総合計画における「達成度を測る指標」や総合戦略における「数値目標」「KPI」等の達成状況を照会し、取組の進捗を検証するとともに、市民にその状況を公表する。	・指標・数値目標・KPIの実績等を取りまとめ、進捗状況を検証する。 ・検証結果を各課にフィードバックするとともに、HP等で進捗を公表する。	総合戦略及び総合戦略における令和4年度の達成度を測る指標や数値目標等を検証し、進捗状況をHPで公表した。
大規模事業等について、役割分担のもと県や国による事業化を実現する。	各課の要望を取りまとめ、国に対しては自民党要望を、山口県に対しては県予算要望を行う。	市では実施が困難な大規模事業等について、国や県に対して適切な要望活動を行い、国家予算や県予算での事業採択・実施を目指す。	・各課からの要望を要望書にとりまとめ、国及び県に対して要望活動を行う。 ・要望に対する県等の対応方針の回答を確認し、各課に情報共有を行う。	各課からの要望を取りまとめ、重点要望項目等を整理し、国家予算や県予算による事業採択・実施に向けて、県及び自民党へ要望を行った。
広域行政を推進し、圏域全体の一体的な発展を図る。	広島広域都市圏における連携事業を活用し、本市の情報を積極的に発信する。	広島広域都市圏の市町と連携して取り組むことで、圏域内の交流を促し、圏域全体の発展と本市の活性化を目指す。	・関係団体や庁内関係課に対し、圏域で実施するイベント等への参加を促すとともに、事業実施の調整を図る。 ・市民に広く情報発信を行い、圏域内の交流を促す。	広島広域都市圏における取組について、庁内外に参加を促すとともに、職員の人事交流による共同研修を実施した。
基幹統計に係る事務・手続を正確に行う。	住宅・土地統計調査、漁業センサス等の実施	調査員・指導員を指導し、対象者からの問合せに適切に対応できるよう調査内容を正確に把握する。	調査期限内に調査票を回収し、正確に調査票が記入されていることを確認した上で集計を行い、期限内に関係省庁に提出する。	調査員・指導員に対し、わかりやすい資料を作成して説明を行うなど指導を行い、期限内に関係省庁に提出することができた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な財政運営を行うとともに、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進め、質の高い行政サービスを提供することで、市民満足度の向上を目指します。

財政課 設定者 課長 松尾 佳一

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
持続可能な行政経営を行うため、一般財源の状況を把握した上で、その確保及び適切な配分に努める。	一般財源の状況を把握し、投資政策的経費に適切に一般財源を配分する。	投資政策的経費に配分する一般財源を確保しながら、持続可能な行政経営が行えている。	<ul style="list-style-type: none">令和4年度に策定した財政計画を踏まえ、今後の一般財源の見通しを把握する。今後の一般財源の状況を勘案しながら、投資政策的経費に一般財源を配分する。	財政計画を踏まえ、今後の一般財源の見通しを把握したうえで予算編成に取り組んだが、令和6年度当初予算における投資政策的経費の一般財源は、同計画の目標値には及ばなかった。
市債については、将来負担の軽減を図るため発行の抑制に努めるとともに、発行する場合には、財政的に有利な普通交付税算入率の高いものの活用を努める。	市債を発行する場合は、普通交付税算入率の高いものを活用する。	市債を発行する場合には、普通交付税算入率の高いものの活用を努めることにより、一般財源の負担を軽減することで、将来に向けて一般財源を確保する。	予算編成時に財政的に有利な市債が活用できないか十分に検討し、活用可能なものについては、市債を充当する。	令和5年度の補正予算や令和6年度当初予算において、普通交付税への算入率が高い合併特例債や過疎債などに加え、緊急防災・減債事業債や緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債など、財政的に有利な市債の活用を図った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な財政運営を行うとともに、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進め、質の高い行政サービスを提供することで、市民満足度の向上を目指します。

施設経営課 設定者 課長 河本 圭介

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
公有財産の総括的な管理を行い、未利用財産の有効活用に向けた取り組みを行う。	総括的に公有財産の管理状況を把握するとともに、未利用財産については有効活用に向けて、貸付や処分等を財産所管課と連携し行っていく。	①公有財産の取得・処分・活用状況や備品の管理状況が把握できている。 ②財産に関する保険手続きを適正に行い、不測の事態に備えることができている。 ③未利用となっている財産の有効活用が図れている。	①公有財産管理システムについて、各課からの異動報告や照会結果を適宜反映し、公有財産の一元的な管理を行う。 ②市が保有する建物や工作物、備品について、適宜異動を反映するとともに、事故発生時において適切な保険手続きを行う。 ③未利用財産について財産所管課と連携し、貸付や処分など利活用に向けた検討や手続きを進める。	①財産所管課からの財産の異動、貸付や処分等の情報を逐一公有財産管理システムに反映させ、市有財産の一元管理を行った。 ②各課からの依頼に基づき保険加入・解約手続きを行い、事故発生時にも随時適切に保険対応手続きを行うことができた。 ③未利用財産の利活用に関する基本方針を策定し、全庁に周知を行った。また、普通財産の利活用状況の調査を実施し、利活用状況のリストを作成した。このリストをもとに処分可能な財産の洗い出しを行い、財産所管課と連携し、来年度の処分に向けての準備を行った。
安心安全で次世代に負担をかけない公共施設を目指して、質と量の最適化に計画的に取り組む。	岩国市公共施設個別施設計画に沿って、公共施設の質と量の最適化を目指し、計画性を持って着実に実行する。	①人口や施設の利用実態に対し、施設の量が最適である。 ②多様化する市民ニーズの把握・分析、施設の計画的保全や健全な管理運営が行われ、施設の質が最適である。	①重点的かつ効率的に公共施設の再編・再配置を進めるため、一次的な生活圏を基本単位とした地域別公共施設再編行動計画を策定し、地域住民との合意形成を図る。 ②中長期的な視点による財政支出の平準化や、ライフサイクルコストの縮減を図りながら建物や設備の計画的な改修・更新等を進めるため、予防保全の観点を含む公共施設保全計画の策定に向けた取組を行う。 ③今後、譲渡の方向性となっている施設について、その取組を進めるための仕組の整備や、廃止する施設の跡地等の有効活用の促進を図る。 ④施設の安全確保に向け、施設管理者への日常点検等の実施の周知等に取り組む。	①市内を小学校区を基本単位とした30のエリアに分け、公共施設の方向性を記載したエリア別公共施設アクションプログラムを作成した。 ②公共施設保全計画の策定に向けた基本方針を作成し、計画の対象施設を整理するなど次年度以降からの策定作業の準備を行った。 ③施設の分類ごとに譲渡方針を作成した。また、跡地活用等のため、サウンディング型市場調査運用方針を作成した。 ④施設管理者に向けて、法定点検や日常点検の実施について、周知を図った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な財政運営を行うとともに、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進め、質の高い行政サービスを提供することで、市民満足度の向上を目指します。

交通政策課 設定者 課長 中田 誠

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
効率的・効果的な公共交通サービスの構築	地域内支線の維持・確保・デマンド交通等への見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 施設の移転・廃止等に合わせた路線の見直しを行う。 運行効率の悪い路線の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 路線の見直し デマンド（予約乗合）化 	<ul style="list-style-type: none"> 師木野地区の実証運行の結果を基に、路線バスを効率化を図った。 由宇地域の乗合タクシーの実証運行に向けた協議を実施した。
	鉄道のより一層の利用促進と在り方の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 利用促進による利用人数の増加を図る。 錦川清流線の方向性について検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチーム設立 現状分析・各種調査 意見を聴く会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 副市長をチーフとする関係部長でのプロジェクトチームを設置、会議を2回開催した。 専門家により意見を聴く会を1回開催した。 アンケート調査の実施、現状分析を実施した。
公共交通を守り育てる意識の醸成	効果的なモビリティ・マネジメントの推進する。	公共交通を利用する意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットの更新・配布 乗り方教室実施 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の時刻表や地図を4月と10月に更新・配布し、各パンフレットは随時、更新・配布した。 鉄道を1回、船を2回、バスを1回、小学生を対象に乗り方教室を実施した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な財政運営を行うとともに、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進め、質の高い行政サービスを提供することで、市民満足度の向上を目指します。

課税課 設定者 課長 志賀 浩明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
課税客体の適正な把握に努め課税誤りのない状態を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 相互チェック体制の確立 研修会等への積極的な参加 固定資産評価替えの作業 	<ul style="list-style-type: none"> 経験年数に関わらず適正な課税が遂行できる。 課税誤りをなくす。 次の固定資産評価替えに向けての体制整備ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会参加への勧奨 班内研修の実施 指導の強化 固定資産評価替え作業の経験のない職員の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会には積極的に参加している。 相互チェック体制の確立については、より良い方法がないか引き続き検討している。 固定資産評価替えの作業については、経験のない職員にも積極的に参加させ、次期評価替えに向けて準備を進めることができました。
税制改正を適正に賦課に反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> 課内における税制改正の周知 班内研修、ミーティングの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 税制改正について賦課内容が理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考図書等の供覧により知識を増やす。 月1回班内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 国からの資料や参考図書を供覧することにより、税制改正について周知し、理解を深めている。 課内会議や各班における班内ミーティング、研修などを通じて、スキルアップを図ることができた。
納税者に対して賦課内容を分かりやすく説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 業務マニュアルの充実およびアップデートの実施 賦課に対する情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の知識等のレベルアップが図れている。 問い合わせに対して適正な回答ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去のノウハウを活かしマニュアルについては随時アップデートを実施する。 困難な案件について課内での情報共有を課内会議時に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務マニュアルについては、随時アップデートすると共に、必要に応じて新規に作成することにより、充実を図ることができた。 困難な案件や問題案件等については、課内で情報共有し、個々の知識や対応力のレベルアップを図った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な財政運営を行うとともに、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進め、質の高い行政サービスを提供することで、市民満足度の向上を目指します。

収税課 設定者 課長 松井 美穂

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安定的な財源の確保	市税収納率の向上	現年度市税収納率、概ね99%、滞納繰越し市税収納率、概ね、40%程度を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 納税者の現状を踏まえた納税相談、適切な調査を実施する。 滞納処分、滞納処分の停止を効率的に実施する。 	現年度市税収納率については概ね達成することができているが、滞納繰越し市税収納率については、コロナ禍明けの経済状況が回復しきれなかったため、達成することはできていない。
未収金対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 納付手段の充実 現年度未収金の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 納付手段の充実による利便性の向上を図る。 現年度分市税収納率の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 口座振替の勧奨を推進する。 キャッシュレス納付等、新たな納付手段の推進を図る。 新たな滞納を防止するため、現年度分の年度内納付への取り組みを強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> キャッシュレス納付について新たな納付手段の推進をはかることができた。 現年度の納付について収納率の強化に取り組んでいるが、結果としての数字にはあらわれていない。
徴収の公平性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 職員のスキルの向上 円滑な業務遂行のための基盤づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 納税者の現状を適切に把握し、納税意欲向上に向けた丁寧な説明、対応を実施するとともに、適宜適切な滞納整理による公平性の確保を図る。 課内の業務負担に偏りがなく円滑な運営ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修の受講によりスキルアップを図る。 関係機関との連携による組織的な収納体制を強化する。 業務内容を見直し、一部の職員にのみ負担をかけるようなことがないような体制とする。 管理班、収納班、滞納整理室の業務分担、連携方法について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種の研修については受講することができたが、コロナの終息により宿泊研修についても再開したい。 業務内容を見直し、分担の見直しを図っているが完全な負担軽減には至っていない。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部（デジタル改革担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 デジタル改革担当部長 上田 清次郎

デジタル技術の積極的な活用により、市民サービス向上や暮らしやすいまちづくりを推進するとともに、効率的・効果的な行政経営に取り組みます。

デジタル推進課 設定者 課長 岡田 淳

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域のデジタル化を促進し、行政サービスの効率化や市民サービスの向上、産業振興などへの貢献	市民向けのデジタルサービスの立案、継続事業の見直しを行う。	導入したデジタルサービスについての市民の声を聴き、さらなるサービス向上が可能となるような改善を検討する。	新しいデジタル技術やサービスの検証や導入経費、維持経費の算出を行う。	<ul style="list-style-type: none">・今年度に導入したキャッシュレス決済について、窓口アンケートにより市民の満足度を調査し、拡充の検討材料にするとともに、更なるサービスの向上に向けて、関係部署と協議調整し、運用改善を行った。・今後の遠隔接客システム等のデジタル化事業について、機器等の仕様をはじめ、財源、経費などの調査を実施し、サービス導入の最適化に向けて検討を行った。
内部系システムの安定稼働と効率化を目指す。	<ul style="list-style-type: none">・ガバメントクラウドへの対応、内部系システムの基盤・運用中のシステム保守や安定稼働に向けた日常のメンテナンス	安定稼働を目指す。	ガバメントクラウドへの確実な実施	<ul style="list-style-type: none">・委託業者を決定し、ガバメントクラウドに向けた作業に取り掛かった。・国の早期移行団体に採択され、国からの助言などを受けて、稼働に向けて準備を進めた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部（デジタル改革担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 デジタル改革担当部長 上田 清次郎

デジタル技術の積極的な活用により、市民サービス向上や暮らしやすいまちづくりを推進するとともに、効率的・効果的な行政経営に取り組みます。

行政改革室 設定者 室長 上田 清次郎

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
行政経営改革プランの推進	行政経営改革プランの行動計画における年度計画を着実に実行する。	令和5年度の達成状況の把握、成果の検証において、的確な評価ができています。	・行動計画の取組に係る主担当部署への働きかけ、援助、進捗管理を行う。	期首、中間、期末の報告に併せてヒアリングを実施し、積極的に担当部署とコミュニケーションをとることで、進捗管理とフィードバックを行った。
窓口業務の効率化・サービス向上	・窓口業務について、業務の棚卸しや業務分析を行い、プロセスを抜本的に見直し、最適化するための支援を行う。 ・ライフステージに合わせた情報提供のための申請案内システム及び申請書作成支援システムの活用を検討する。	・業務プロセスを抜本的に見直すことによって、窓口業務を最適化する。 ・ライフステージによる必要な手続きが確認でき、窓口に出来ない・書かない申請が可能となる。	・デジタルツールを用いた業務改善方法の検討を進める。 ・民間委託業務の研究を行い、庁内での検討を進める。	・5課に対して窓口ヒアリングを実施し、課題の抽出、BPRの提案、DXツールの提供などを行った。 ・窓口の最適化のため、国が推奨するフロントヤード改革につながるツールの検討・設計を窓口関係課で行い次年度企画の作成を行った。
事務執行の適正化	財務に関する事務を対象とした地方自治法に基づく内部統制制度の導入に向け、制度の周知等を行う。	内部統制制度の周知が図られる。	制度について整理し、周知を図る。	・財務事務のセルフチェックを目的に全職員に対してE-ラーニング形式の研修を実施(延べ1,033人)。併せて財務関係マニュアルの整理を行った。 ・「事務ミス防止研修」として、事務ミス防止の仕組みづくりや内部統制制度を学習する研修を企画・実施した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部（基地政策担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 基地政策担当部長 穴水 辰雄

岩国基地との共存を基本スタンスとして、安心・安全対策に取り組めます。

基地政策課 設定者 課長 石本 英二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安心・安全対策の推進	安心・安全対策（43項目）の要望のうち、未達成項目の進展を図る。	未達成項目の実現あるいは実現に向けた協議が進展している。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 基地外居住者の居所の明確化 (2) 日米地位協定の見直し・運用改善 <ul style="list-style-type: none"> ・損害賠償手続きの迅速化 ・被疑者の起訴前の拘禁移転 (3) 住宅防音工事に関する制度の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・対象区域の拡大 ・対象施設の事務所・店舗等への拡大 	<p>(1) について、この実態を把握できるよう山口県基地関係市町連絡協議会として要望を行ったが進展がなかった。</p> <p>(2) について、涉外知事会等を通じ、早急な見直しなど、重点的に要望を行った。日米両政府に関わる全国的な課題であるため、粘り強い取組が必要。</p> <p>(3) について、現在行われている第一種区域等（対象区域）の見直しに当たっては、空母艦載機の滞在時や外来機の飛来による訓練等を考慮するよう要望した。また、対象施設の事務所・店舗への拡大については、令和6年度の国の予算案において、施策の検討のための予算が計上され、一歩前進した。</p>

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部（基地政策担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 基地政策担当部長 穴水 辰雄

岩国基地との共存を基本スタンスとして、安心・安全対策に取り組めます。

基地政策課 設定者 課長 石本 英二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
航空機の騒音軽減や事故防止	<ul style="list-style-type: none"> (1) 岩国基地への申入れ。 (2) 航空機騒音の測定、集計、分析による実態把握 (3) 岩国日米協議会の「確認事項」の見直しに関する協議の継続 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 岩国基地への申入れの減少 <ul style="list-style-type: none"> ①飛行規則が遵守され、飛行運用において、市民生活への配慮がなされている。 ②航空機事故等が発生していない。 (2) 騒音測定データ及び分析が騒音対策に有効に活用され、市民へ適切に情報提供されている。 (3) 「確認事項」の見直しだが、日米双方の合意によりまとまる。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 航空機の飛行規則の違反、事故の発生はもちろん、騒音苦情の増加や運用に問題がある場合、岩国基地へ申入れを行う。 (2) 市が設置する騒音測定器による計測、基地情報提供協力員及び基地政策嘱託員からの情報に基づき、騒音に関する的確な情報整理や分析を行うとともに、HP等を通じ、市民への情報提供を適切に行う。 (3) 国や米軍と「確認事項」の見直しについて、継続して協議を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)・(2)について、市が設置する騒音測定器、情報提供協力員及び嘱託員による情報を整理、分析し、HP等により適切に情報提供を行った。また、盆・正月等の飛行自粛要請や時間外運用、騒音苦情件数の増加等の問題がある運用に対する申入れを行ったが、この件数は前年度と比べ減少し、大きな航空機事故も発生していない。 (3) 当見直し協議自体に進展はなかったが、基地に関する問題が生じた場合には、その都度基地側と解決に向けた協議を行うなど、支障は生じなかった。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部（基地政策担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 基地政策担当部長 穴水 辰雄

岩国基地との共存を基本スタンスとして、安心・安全対策に取り組めます。

基地政策課 設定者 課長 石本 英二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
米軍構成員等による事件、事故の防止	(1) 米軍構成員等による事件・事故防止のための予防対策の実施。 (2) 事件・事故等の発生した場合の申入れ等の適切な対応	米軍構成員等による事件・事故等が発生していない。	(1) 米軍構成員等による事件・事故を未然に防止するための取組を行う。 ①セーフティブリーフィングの実施又はビデオメッセージの作成 ②安心安全共同パトロールの実施 ③その他、他部署が行う安心安全啓発事業に対するサポート (2) 事件・事故等に対する再発防止等の申入れ。	(1) 米軍構成員等による事件・事故を未然に防止するため以下の取組を行った。 ①市長のビデオメッセージを基地内で活用してもらい、事件・事故防止の啓発を図った。 ②12月8日に安心安全共同パトロールを実施。 ③交通事故防止のため、セーフティドライビングスクールの実施をサポートした。 (2) 事件・事故の発生に対して、状況に応じて、綱紀の保持と実効性のある再発防止策の徹底を要請した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部（基地政策担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 基地政策担当部長 穴水 辰雄

岩国基地との共存を基本スタンスとして、安心・安全対策に取り組めます。

基地政策課 設定者 課長 石本 英二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
その他、基地に関する諸問題への適切な対応	その他、基地に関する継続案件や年度を通じて生じる諸問題について、個別・具体的に迅速かつ適切な対応を行う。	基地に起因する諸問題への市民の不安に対し、必要な情報提供がなされており、問題がある場合は、国や米軍に対し申入れ等の適切な対応が行われている。	<p>(1) 継続案件について、関係機関・部署と連携し、進展を図る。</p> <p>【継続案件の主なもの】</p> <p>①地元の意向、航空機の運用実態等を考慮した第一種区域等の見直しに向けた協議</p> <p>②5ha返還（昭和町藤生線）協議の進展</p> <p>③ごみ露出・燃料施設整備問題への状況把握及び対応</p> <p>(2) 年度を通じて生じる諸問題への迅速かつ適切な対応</p>	<p>(1) について、以下の対応を行った。</p> <p>①について、当見直しのための「騒音度調査」に当たり、空母艦載機の滞在時や外来機の飛来による訓練等の運用実態を考慮した見直しを行うよう、機会あるごとに要望を行った。</p> <p>②について、国に協議の加速化と測量調査の実施を求め、現在、国と米側で調整が進められている。</p> <p>③ごみ露出問題については、露出自体の改善はなされたが、今後も注視する。燃料施設整備に関する新たな情報はなく、引き続き、状況把握に努める。</p> <p>(2) 市民生活への影響、不安が懸念される運用（外来機の飛来による訓練・オスプレイ等）について、案件ごとに国から説明を受け、要請・情報提供を適切に行った。</p>

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民協働部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民協働部長 小玉 陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと、市民との協働による安心安全で持続可能な地域づくりを推進します。

地域づくり推進課 設定者 課長 河村 憲二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の自治・協働を促し、地域での支えあいのまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの強化 ・多様な主体との連携、協働の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民の自治及び協働の意識醸成と促進 ②市民活動の場づくりの支援 ③市民活動の拡充・リーダー等の人材育成及び活用 	<ul style="list-style-type: none"> ①自治会報奨金、コミュニティ助成事業、地域資源活性化事業（地域づくりワークショップ等）の実施 ②地域協働拠点としての出張所、供用会館等のあり方や方向性等（公共施設等総合管理計画や公共施設個別施設計画）の検討 ③御庄地区地域づくり拠点施設整備事業 ④横山地区集会所改修事業 ⑤みんなの夢をはぐくむ交付金の活用促進 ⑥市民団体、市民活動パートナー制度の登録推進 ⑦市民活動人材育成事業補助金の活用促進 ⑧市民活動支援センターの機能充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①・自治会加入率：70.96% ・一般コミュニティ助成事業：2件 ・コミュニティ集会所整備事業補助金：7件 ・地域づくりワークショップ（4地区、22回開催） ②出張所及び供用会館等の今後の方向性を定めたエリア別公共施設アクションプログラムの作成に向けて関係部署と調整を行った。 ③ワークショップの開催とともに、令和6年度から着手できるように基本設計費用を予算化した。 ④本年度、実施設計を行い、地元説明会等を経て、令和6年度から改修工事を予定。 ⑤みんなの夢をはぐくむ交付金は補正予算対応を行い、昨年度より9団体多い24団体の市民活動団体への支援、事業実施ができた。 ⑥市民活動登録団体：115団体 市民活動パートナー制度：登録15件、募集47団体 ⑦市民活動人材育成事業補助金：0件 ⑧市民活動支援センター利用者数：延べ2,344人 さぼーと講座（7回）、地域コーディネーター養成講座（2回）、登録団体交流会（3回）、市民活動カフェ（参加団体39団体、来場者1,200人）、パネル展実施、出前講座（岩国看護学校）などを実施した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民協働部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民協働部長 小玉 陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと、市民との協働による安心安全で持続可能な地域づくりを推進します。

地域づくり推進課 設定者 課長 河村 憲二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民に信頼される親しみやすい出張所を目指す。	迅速・丁寧・親切な窓口サービスの提供	①来庁者への接遇の向上 ②円滑な事務処理に向けた業務改善	①定期的な所内職員ミーティングの実施 ②問題が発生した場合、出張所内及び各出張所間での情報及び課題の共有 ③本庁関係課との密な連携	①市民に最も身近な行政サービスを提供する窓口として、親切かつ丁寧な接遇に努めた。 ②③毎月、出張所長会議を開催し、本庁関係課からの情報提供及び共有を図るとともに窓口サービスの維持・向上に努めた。 出張所取扱件数：55, 557件
中山間地域において、地域や家庭、近隣同士での支えあいによる地域力の維持とともに、地域の魅力を高める活動支援を行う。	・小規模・高齢化集落等への対策の推進 ・地域おこし協力隊等を活用した地域力の維持・強化の推進及び魅力情報の発信	①市民と協働の地域づくり ②都市部との交流促進	①集落支援員を中心とした地域活動支援 ②夢プラン応援費補助金の活用促進 ③中山間地域お助け活動助成金の活用促進 ④買い物弱者支援事業 ⑤体験型教育旅行支援事業の推進 ⑥地域おこし協力隊員による地域資源の発掘及び情報発信	①本年度、集落支援員が1名増えて7名体制となり、前年に比べ地域の実態把握、話し合い活動がより活発なものとなった。 ②夢プランを策定した団体に活動状況の聞き取りを行い、活動内容を検証した。 ③中山間地域お助け活動助成金は、補助金額を増額するなど要綱の見直しを図った。 ④買い物弱者支援事業は、燃料費の補助単価の見直し、離島への支援として船舶を対象に追加するなど要綱の見直しを図った。 ⑤コロナが終息し、日帰り体験旅行は実施できたが、宿泊体験の受け入れまでには至っていない。 ⑥地域おこし協力隊は、前年度より1名増員となる5地域7名を派遣し、隊員と地域が良好な関係で活動できるよう支援した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民協働部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民協働部長 小玉 陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと、市民との協働による安心安全で持続可能な地域づくりを推進します。

くらし安心安全課 設定者 課長 綿重 典子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
犯罪が起きにくい環境づくりを進め、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の形成を図る	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの管理運用 防犯灯設置事業費補助及び防犯灯電気料金助成事業 犯罪被害者等支援事業 	防犯設備の整備や運用により、犯罪、事故等の防止や早期解決を図るとともに、犯罪被害者等への相談、支援を行うことにより、誰もが安心して暮らすことができる地域社会を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> 刑法犯認知件数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラ175台の適正運用 自治会設置の防犯灯関連費用の助成 基地周辺における防犯灯のLED化改修工事 犯罪被害者等への相談支援 	岩国警察署と連携して、防犯カメラの適正運用や自治会への防犯灯関連費用の助成を実施するとともに、基地周辺におけるLED化改修工事を完了した。しかし、全国的な傾向であるが、刑法犯認知件数は増加に転じており、さらなる防犯対策を推進する必要がある。また、犯罪被害者等支援条例に基づき、経済的にも精神的にも犯罪被害者等に寄り添った支援を行った。
第11次岩国市交通安全計画に基づき交通安全対策を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の啓発 交通安全教室の推進 	交通安全思想の普及徹底を行い、交通事故の防止を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 交通事故数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関、関係団体、企業と連携して、交通安全指導や啓発活動を実施 子供、高齢者、米軍関係者を対象にした交通安全教室を開催 	関係機関等と連携して、交通安全運動や交通安全教室の実施等により啓発活動を効果的に推進した。交通事故数は202件で昨年と比較して3件減少した。
消費者の安心・安全を確保するために、啓発活動や相談窓口の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 消費者トラブル防止の啓発 消費者教育の推進 消費生活相談事業 	消費者力の向上や消費者被害の防止を図り、市民が豊かな消費生活を送ることができる。 <ul style="list-style-type: none"> 消費生活出前講座回数の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害防止の広報啓発活動 消費生活講座の実施 消費生活相談の充実 消費者見守りネットワーク協議会の開催及び構成組織との連携 	消費者力の向上や消費者被害防止に向けて、様々な媒体により啓発を行った。特に消費生活出前講座は様々な団体や高校で行い好評を得ており、実施回数は16回で昨年と同数であったが、高校への出前講座は増加し、4校で実施した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民協働部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民協働部長 小玉 陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと、市民との協働による安心安全で持続可能な地域づくりを推進します。

くらし安心安全課 設定者 課長 綿重 典子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の声を聴き、関係部署へつなぎ応えていくことにより、市政への理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政相談等各種相談事業 ・ 自治会等からの陳情、要望対応 ・ パブリックコメントの実施 	<p>市政や地域課題についての相談や要望について、迅速に対応することにより、市民の市政への理解を深めるとともに不安感の解消を図る。またパブリックコメントの実施により、市民の市政への積極的で幅広い参加機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政相談件数の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話、来庁、郵便、市長ホットラインにより相談・要望を受け、助言や情報提供を行うとともに関係部署と連絡調整を行い対応する ・ 問題解決に向けて、適切な対応を行うために、調整会議を開催 	<p>市民からの市政への相談・要望を傾聴し、情報提供や関係部署への迅速な引継ぎを行うことにより、市民の市政への理解を深めるとともに、不安感の解消に努めた。また、パブリックコメントの実施により、市民の市政への参加機会を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政相談件数は340件で、昨年と比較して90件増となった。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民協働部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民協働部長 小玉 陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと、市民との協働による安心安全で持続可能な地域づくりを推進します。

市民課 設定者 課長 鳥川 真由美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
個人情報に関することは、厳格に対応する。	個人情報の適正な管理と取り扱い	個人情報の管理を徹底し厳格化することで、市民の安心と信頼を図る。	①証明書等発行する際、複数人で確認する。また、窓口で交付する際は、申請者に証明書の内容を確認のうえ、交付する。 ②個人情報が記載されているものなどを他の職員に引き継ぐ際には、声掛けを必ず行う。 ③業務終了時は、複数人で確認しながら施錠のできるロッカーやキャビネット等に収める。 ④各個人の机上の整理を徹底する。 ⑤個人情報が放置されていると思われるときは、必ず作業中の有無を確認する。	・証明書を交付する際、発行者、レジ打ちをした者、交付者の3名で申請書と発行した証明書の内容が一致しているか確認し、窓口で申請者に渡す際にも証明書等の内容確認をお願いした上で交付した。 ・個人情報が記載された書類を他の職員へ引き継ぐ際の声掛け及び机上の整理、業務終了後は施錠のできるロッカー等への収納を徹底した。
個人番号カードの普及促進	個人番号カードの円滑な交付・更新	個人番号カードをスムーズに交付・更新することにより市民サービスの向上と満足度の向上を図る。	①時間外や休日に交付窓口を開設し執務時間内に来庁できない市民に対し個人番号カードの交付・更新処理を実施する。 ②施設等に出向き、市役所に来庁する事が困難な方に対し、個人番号カード交付申請補助を行うことにより申請時の負担を軽減する。	・時間外、休日窓口を開設し、個人番号カードの交付・更新処理を実施することにより市民サービスの向上を図った。 ・出張申請支援の体制を整え広報誌、ホームページでPRした。
住民基本台帳・戸籍の証明書等の発行をスムーズに行う。	住民基本台帳、戸籍の証明書等の円滑な発行	個人番号カードによるコンビニ交付の推奨	個人番号カード取得者に対しコンビニのマルチコピー機による証明書交付を推奨する。	個人番号カード交付時及び保有者に対し自動交付機での証明発行を推奨し、窓口混雑の緩和に努めた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

文化スポーツ振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化スポーツ振興部長 遠藤 克也

職員一人ひとりが創造性を持ち、時代の流れを先取りした文化・スポーツの取組を進めます。

文化スポーツ課 設定者 課長 杉田 久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
岩国の文化を伝え・創り・活かすことで文化芸術が彩るこころ豊かなまちの実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ①本市の子供たちをはじめ、市民が文化・芸術に接する機会の充実に取り組みます。 ②市民が推進する文化・芸術活動等について、支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ①文化施設の利用増等により、文化・芸術に触れる機会が増えている状況 ②主要文化事業参加者等により、文化・芸術活動に取り組む市民が増えている状況 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民文化祭や市美術展覧会等、文化施設での展示、錦帯橋芸術祭等のイベント内容の工夫や情報発信の強化を行い、観覧者増を図ります。 ②併せて、文化協会や高校等への出展依頼を行い、参加者増も図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「文化施設の利用増等により、文化・芸術に触れる機会が増えている状況」としては、市の主要文化施設である市民文化会館、吉香茶室、周東文化会館、美和文化会館の利用者数合計が、令和4年度の126,036人から令和5年度は124,100人（見込）へと「減少」しました。 ②「主要文化事業参加者等により、文化・芸術活動に取り組む市民が増えている状況」としては、市の主要文化事業である市民文化祭、市美術展覧会、錦帯橋芸術祭の参加者数合計が、令和4年度の13,076人から令和5年度は14,784人へと「増加」しました。また、子どもを対象とした文化事業である、0歳からクラシックコンサート、IJCジュニア合唱団、豊かなこころを育む音楽教室の参加者数合計は、令和4年度の1,496人から令和5年度は1,549人へと「増加」しました。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

文化スポーツ振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化スポーツ振興部長 遠藤 克也

職員一人ひとりが創造性を持ち、時代の流れを先取りした文化・スポーツの取組を進めます。

文化スポーツ課 設定者 課長 杉田 久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
本市の特色を生かした多文化共生社会の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ①異なる文化を持つ人々との相互理解を深める取組を推進します。 ②国際理解を深める取組を推進します。 ③外国人住民への生活・コミュニケーション支援等の取組を推進します。 ④愛宕スポーツコンプレックス等の施設を活用した日米交流の取組を推進します。 	<p>基地内大学への日本人就学者数、日本語、国際理解講座・日米交流事業の参加者増等により、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国際社会で主体的に行動できる人材が育っている状況 ②市民の国際感覚が醸成され、異文化交流等に対する市民の理解度が深まっている状況 ③外国人住民の地域参画が促進されている状況 ④日米交流の推進を通じて、相互理解が深まっている状況 	<ul style="list-style-type: none"> ①青少年の海外派遣、基地内大学への就学、異文化理解教育を推進します。 ②国際理解講座・交流事業を実施します。 ③日本語及び日本社会に関する学習支援、日本語ボランティアの育成、日本語教室の支援等を行います。 ④文化・スポーツの日米交流事業、ホストタウン事業等を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「国際社会で主体的に行動できる人材が育っている状況」としては、基地内大学への日本人就学者数は令和4年度の7人が令和5年度は2人と「減少」しました。 ②「市民の国際感覚が醸成され、異文化交流等に対する市民の理解度が深まっている状況」及び③「外国人住民の地域参画が促進されている状況」としては、国際理解講座及び日本語講座の参加者数が、令和4年度の1,386人から令和5年度は1,342人へと「減少」しました。 ④「日米交流の推進を通じて、相互理解が深まっている状況」としては、文化・スポーツ等の各種日米交流イベントの参加者数が、令和4年度の14,432人から令和5年度は20,880人（見込）へと「大幅に増加」しました。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

文化スポーツ振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化スポーツ振興部長 遠藤 克也

職員一人ひとりが創造性を持ち、時代の流れを先取りした文化・スポーツの取組を進めます。

文化スポーツ課 設定者 課長 杉田 久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整備します。	<p>①市民の誰もが利用しやすいスポーツ施設の整備等に取り組みます。</p> <p>②ニーズに応じたスポーツ教室の開催やプロスポーツ等の大会誘致をはじめ、スポーツ活動の支援・充実等に資する取組を推進します。</p>	<p>スポーツ参加者数・スポーツ施設利用者数・統合型地域スポーツクラブの増加等により、市民が生涯を通じて、スポーツに親しみ楽しむ関わることのできる環境が整っている状況</p>	<p>①既存施設の適切な維持管理のほか、県立武道館建設に係る各種調整等、新規施設に係る取組を行います。</p> <p>②スポーツ教室の充実、各種スポーツ・レクリエーション団体との協働を推進します。また、錦帯橋ロードレース大会等の定例イベントを着実に実施するとともに、ソフトボールの日米代表による「日米対抗ソフトボール2023」の開催等、トップ選手のプレーに接する機会の充実も図ります。</p>	<p>スポーツ教室の参加者数は、令和4年度の19,181人から令和5年度は22,960人へ、スポーツ施設利用者数は令和4年度の588,028人から令和5年度は608,550人（見込）へと、いずれも「増加」しました。総合型スポーツクラブ（現在7クラブ）は、年度内の新規設立はなく、「横ばい」でした。</p>

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

文化スポーツ振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化スポーツ振興部長 遠藤 克也

職員一人ひとりが創造性を持ち、時代の流れを先取りした文化・スポーツの取組を進めます。

文化財課 設定者 課長 若林 久夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
文化財の保護	<ul style="list-style-type: none">・シロヘビ保護管理事業・民俗芸能まつり開催事業・文化財施設等の維持業務・旧目加田家住宅整備事業	<ul style="list-style-type: none">・国天然記念物「岩国のシロヘビ」の保護のため、飼育環境の維持を行う。・民俗芸能の保存と伝承及び周知を行う場を提供する。・市内文化財の維持を図る為の環境を整える。	<ul style="list-style-type: none">・シロヘビ飼育場の維持を行う。・民俗芸能まつりの実施・市内文化財保管・保護の環境を維持及び改善を図る。	<ul style="list-style-type: none">・天神屋外放飼場の改修工事を実施した。・民俗芸能まつりを8月27日にハーモニーみわで実施した（12団体参加）。・旧目加田家住宅の保存活用計画を策定し、文化庁の認定を受けた。
文化財に関する各種の情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none">・岩国シロヘビの館運営	<ul style="list-style-type: none">・市内の文化財を多くの人に知ってもらおう。・国天然記念物「岩国のシロヘビ」を守り伝える意識を、子供たちに伝える。	<ul style="list-style-type: none">・文化財HPを随時更新する。・シロヘビこども飼育員などの行事を実施・小学校でシロヘビの学習会を実施・岩国シロヘビの館の管理運営を行う	<ul style="list-style-type: none">・環境フェスタ、岩国錦帯橋空港にてオオサンショウウオを展示し、保護意識の普及啓発を行った。・「シロヘビこども飼育員」、「夏休みシロヘビ親子教室」等の行事を実施した。・市内5小学校でシロヘビの学習会を実施した。・市内5か所で埋蔵文化財に関する講座を実施した。
価値付けができない文化財や歴史的資料等の調査・研究を行う。	<ul style="list-style-type: none">・文化財保護業務・岩国城調査事業	<ul style="list-style-type: none">・文化財の調査や研究を行い、価値付けするため取りまとめを行う。・価値のある文化財のほりおこしのための調査・研究を行う。	<ul style="list-style-type: none">・文化財審議会の開催・埋蔵文化財の確認調査を行う。・未指定文化財の調査を行う。・岩国城の調査を行う。	<ul style="list-style-type: none">・新たに市の指定文化財1件を指定した。・1か所（美和町随門）で埋蔵文化財の試掘調査を実施した。・岩国城跡調査検討委員会を設置し、文化財としての価値を明らかにするための調査を進めた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

文化スポーツ振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化スポーツ振興部長 遠藤 克也

職員一人ひとりが創造性を持ち、時代の流れを先取りした文化・スポーツの取組を進めます。

岩国徴古館 設定者 館長 若林 久夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
企画展等の事業実施による博物館の利用率の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及事業の実施による利用促進 ・調査研究と成果の活用による利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な展示を実施することで、より幅広い世代の入館を図る。 ・各種講座の開催により、郷土の歴史への関心を高める。 ・研究成果を発信し、研究を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の実施（年6回） ・常設展示の活用（年3回以上の展示替え） ・郷土史研究会の開催（月1回） ・古文書講座の開催（月2回） ・書籍等の発行（年1種以上） 	<p>企画展を年間6回実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土史研究会（12回、450人参加）、古文書講座（2種各12回、572人参加）を実施した。 ・岩国徴古館調査報告書第4号、錦帯橋展図録、藤岡市助ものがたりを刊行した。
博学連携の強化	博学連携事業	学校と博物館が相互理解・連携し、博物館の利用によって子供たちの地域への関心や郷土を愛する心を育むとともに、博物館等の施設や所蔵資料の周知・利用によって博物館の活性化を図る。	出前授業、体験講座等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員による出前授業等を43件実施した。
博物館整備事業の実施	岩国市博物館基本計画に基づき博物館の整備を行う。	岩国市博物館整備検討委員会及びPT会議等を開催し、意見の整理、集約を行う。	岩国市博物館実施設計の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・岩国市博物館整備検討委員会及びPT会議等を開催して課題の整理を行いながら、岩国市博物館実施設計を実施した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

文化スポーツ振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化スポーツ振興部長 遠藤 克也

職員一人ひとりが創造性を持ち、時代の流れを先取りした文化・スポーツの取組を進めます。

錦帯橋課 設定者 課長 善村 雄二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
錦帯橋を文化財として保存管理を行う。	錦帯橋保存管理事業	錦帯橋を定期的に点検し、適切な対応の実施により、安全な状態を維持する。	<ul style="list-style-type: none">・毎日及び毎月の点検を行う。・点検で発見した箇所を速やかに対応する。	<ul style="list-style-type: none">・毎日及び毎月の点検を実施した。・点検において発見した箇所は速やかに修繕等を行った。
錦帯橋と岩国城下町及び周辺の山々を文化財として保存活用を行う。	文化的景観保存活用事業	重要文化的景観として選定された区域（城山、岩国山、錦川、横山地区、岩国地区）を整備するための計画を策定し保存活用を行う。	令和4年度に実施した重要な構成要素の現状調査及び歴史的建造物の把握等を基に整備方針の取りまとめを行い文化的景観整備計画を策定する。	令和4年度の成果を踏まえ、地区住民等との意見交換、文化的景観保存活用委員会の助言等を得て、整備方針を取りまとめ、文化的景観整備計画を策定した。
錦帯橋の世界遺産登録への取組を推進する。	錦帯橋世界遺産推進事業	「世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書 錦帯橋」を更新するための調査研究を進め、取組について啓発活動を行う。	錦帯橋の価値や真実性等について、海外有識者を招聘し視察とシンポジウムを開催、世界遺産専門委員会等の開催、各種普及啓発イベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none">・錦帯橋の価値や真実性等について助言等を得るため、海外有識者3名を11月に招聘し、錦帯橋及び周辺等の視察や国際シンポジウムを開催、世界遺産専門委員会等を開催した。・各種普及啓発イベントを実施した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 神足 欣男

脱炭素社会・循環型社会の構築に向けた取組を推進します。

環境政策課 設定者 課長 藤井 哲夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
環境保全につながる新たな政策を毎年度実施する。	地球温暖化防止対策のために、省エネ家電買い換え支援事業を実施する。	省エネ家電の買い換えを支援し、導入の促進を図る。	国の交付金を活用し、支援事業を立ち上げる。	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、省エネ家電買い換え促進事業 3, 946件を実施した。あわせて、省エネルギーフォーム促進事業 427件も実施した。
情報発信や啓発を適切な時期に適切な方法で行う。	情報発信及び啓発を適切な時期・方法で実施する。	市民や事業者に必要な情報を、適切な時期に容易に受け取ることができる。	周知すべき情報の発信を、広報紙やホームページをはじめとして適切な方法を活用し、適切な時期に広く入手できるようにする。	市民や事業者に必要な情報を、広報紙やホームページに適時掲載するとともに、必要に応じてチラシの配布、市民メールの送信や報道通知等により情報発信を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 神足 欣男

脱炭素社会・循環型社会の構築に向けた取組を推進します。

環境事業課 設定者 課長 村重 典則

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
環境教育の充実	出前講座（各小中学校・自治会等）	ごみの発生・排出削減、リサイクルを進めるため、市民・事業者にごみの減量や分別の意義などについて認知度の向上を図る。	出前講座等を通じて、学校や自治会に対してのPRを実施する。	令和5年度実績 出前講座16件受講者245名 ※ごみの減量とリサイクルの推進への取組、環境美化への意識改革、危険物混入防止対策等受講者に解りやすく説明することで理解が得られた。
生ごみ削減のための3キリ運動推進	生ごみ処理機器購入補助金交付制度	生ごみ処理機器の年間140基以上の補助を通して、生ごみの発生抑制（食材の使い切り、料理の食べきり）と水キリの啓発を行う。	・ホームページ（通年） ・広報いわくに（年1回） ・自治会への班回覧（通年） ・環境イベント（6月頃） ・ごみ収集カレンダー内に掲載	生ごみ処理機器購入補助金については、電気式が71基で一般式が58基の計129基に補助金を交付した。目標基数の140基には、届かなかったが、令和6年度からの補助金限度額増額に伴う買控えがその理由と考えている。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 神足 欣男

脱炭素社会・循環型社会の構築に向けた取組を推進します。

環境施設課 設定者 課長 古本 健二郎

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
「岩国市一般廃棄物処理基本計画」に沿って、安定したごみの処理及びごみの有効利用を促進し、環境保全と経済性を両立した処理施設の運営管理を行う。	効率的かつ安定した資源化及び最終処分量の最小化を促進	①施設に搬入されるごみを有効利用することで、最終処分量を減らす。 ②ごみの有効利用することでリサイクル推進につながる。	ごみの処理先が資源化できることを検討する。	ごみの資源化の取組状況 ①プラスチック類 →プラスチック原料 ②びん類 →カレット(ガラス原料) ③かん類、金属類、小型家電、電源コード類 →金属素材 ④ペットボトル →ペットボトル原料等 ⑤廃食用油、新聞紙類、雑がみ(雑誌)類、段ボール、紙パック →各原料 ⑥布類→再利用 ⑦焼却灰→セメント原料
	ごみの有効利用の促進及び安定したごみの処理をするために、市民への啓発を実施	市民への啓発によりごみの減量化・リサイクル意識の向上を図る。	清掃施設への見学を実施することにより、ごみの減量化・リサイクル意識の理解と向上を図る。	清掃施設への見学人数(団体数)は、1,401人(51団体)が訪れた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 福祉部長 中本 十三夫

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送られるよう支えます。

福祉政策課 設定者 課長 山脇 誠三郎

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域福祉計画に掲げた基本理念に基づき、各種施策、取組の推進を図る。	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現に向けて、地域での助け合いや見守り体制等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民の最も身近な相談相手である民生委員・児童委員による各地域での見守り・相談体制等を支援、促進する。 令和3年3月に策定した地域福祉計画の取組状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修や講演等の機会を通じて、民生委員・児童委員のスキルアップを図る。 地域福祉計画の中間評価を行う。 	民生・児童委員の資質向上やスキルアップの取組については、研修会や講演会への参加状況や、地区ごとに行われる民児協での視察研修の記録などから、積極的に活動されていることが確認できた。
再犯防止推進計画に掲げた基本目標に基づき、各種施策の推進を図る。	再犯防止推進計画の推進	地域における再犯の防止等の理解や関心を深めるために、関係機関・団体等と連携した活動を行う。	再犯防止に関する広報・啓発活動を実施する。	7月の社会を明るくする運動強調月間において、再犯防止を推進する関係機関と連携のうえ、再犯防止に関する広報・啓発活動を実施することができた。
黒磯地区に建設予定の「いこいと学びの交流テラス」に設置を計画している複合施設の円滑な運営	複合施設の管理運営等に必要な調整	令和8年度の施設供用開始に向けて、管理運営体制に関する必要な調整を関係部署とともに行う	福祉センター諸室の管理運営に関する調査、検討	交流テラスの将来的な管理運営を検討するにあたり、新しい福祉センターの備品、消耗品といった必要物品のリストアップや、管理運営を予定している団体との打ち合わせを定期的実施するなど、段階的に準備を進めることができた。
社会福祉法人及び介護サービス事業者が適正に事業運営できるよう、指導及び監査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 申請受付業務、運営に関する指導 社会福祉法人、介護サービス事業者に対する指導監査 	組織の改編に伴い、指導及び監査業務を円滑に実施するための体制を確立する。	今年度実施を予定している運営指導を計画的に行う。	今年度は機構改革により新しい組織となり、指導監査室において、法人監査及び運営指導を計画的に行うことができた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 福祉部長 中本 十三夫

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送れるよう支えます。

生活支援課 設定者 課長 中原 剛

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生活に困窮している市民や生活に不安を抱えている市民が、安心して生活できるよう支援する。	生活困窮者自立支援制度や生活保護制度等の適切な運用	<ul style="list-style-type: none">生活保護に至る前の段階での自立支援を図るとともに、要保護者や被保護者に対して最低限度の生活を保障した上で自立助長を支援する。エネルギー・食料品等の物価高騰の負担感の大きい低所得世帯への負担軽減。	<ul style="list-style-type: none">生活困窮者からの仕事や家計などの相談に対しては、就労支援や家計管理支援などを行う。被保護者に対しては、個々の能力や就労阻害要因等を勘案し、支援プログラムに基づく就労支援を行うなど、自立に向けた支援を行う。住民税非課税世帯等の低所得世帯に対し、「電力ガス食料品等価格高騰重点支援給付金」の支給を行う。	<ul style="list-style-type: none">当年度の自立相談支援事業の相談件数は、令和6年3月末実績で延べ364件。うち62件については関連機関による合議体形式で毎月検討を行った。対象者の抱える課題や目標、各機関の役割を明確化し、支援の経過と成果の評価を行った結果、58件において就労への結実などにより、生活保護に至らず自立を達成した。当年度の生活保護受給者就労支援事業の実施状況は、令和6年3月末で支援対象者が延べ97名あり、うち35名が再就職を果たした。専従の就労支援員を中心として、世帯を担当する職員（ケースワーカー）らが対象者の選定及び集中支援をもって支援対象者の稼働能力の活用を図った。当事業に基づく働きかけの結果、14件が就労開始により基準の最低限度の生活費を超える収入を得て生活保護廃止となった。令和5年6月19日に通知書を発送。令和5年7月14日より令和5年10月20日にかけて、延べ18,707件に対して給付金の支給を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 福祉部長 中本 十三夫

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送られるよう支えます。

高齢者支援課 設定者 課長 柏崎 太

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
高齢者保健福祉施策の総合的な推進と介護保険事業の基本的な方針となる「岩国市高齢者保健福祉計画」を策定します。	高齢者保健福祉計画の策定	前期計画の分析結果から見出した地域課題を十分に反映させた計画を作成することで、高齢者のためのよりよい福祉環境を目指す。	アンケート結果から分析、評価し、次期計画の施策等を決めるため策定委員会やパブリックコメントを実施する。	高齢者福祉のアンケート結果の分析や取組の評価を行い、第9期高齢者保健福祉計画策定を推進した。策定に向けて意見を求めるため計画策定委員会やパブリックコメントを実施した。
地域・関係機関・団体、サービス提供事業者と連携を図り、介護人材の確保・定着・育成に一体的に取り組みます。	介護従事者の人材確保の推進	介護従事者への支援や介護について知ってもらうことで介護離れを抑制し、介護サービスの充実につなげることを目指す。	①新卒介護福祉士就職支援給付金給付事業を実施し、対象となる新卒介護福祉士に給付金を支給する。 ②介護支援専門員就労促進・継続支援給付金給付事業を実施し、対象となる介護支援専門員に給付金を支給する。 ③市内中学校等で介護に関する職業講話を行う。	①新卒介護福祉士就職支援給付金給付事業について会議等で周知し、7件の実績があった。 ②介護支援専門員就労促進・継続支援給付金給付事業について、会議等で周知し、就労促進は5件、継続支援は26件の実績があった。 ③介護職の職業講話を市内中学校4校で実施し介護への理解を図った。
高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活ができるよう、社会参加・生きがいがづくりの促進を図るとともに、安心して生活できる環境整備づくりを推進していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報システム整備事業 高齢者生き行きサポート事業 錦川清流線運賃助成事業 柱島航路運賃助成事業 	<ul style="list-style-type: none"> 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる体制を整備する。 移動手段が少ない高齢者に対し外出する機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度から携帯型の緊急通報システムが選択可能となったことから、緊急通報システムの利用者を増やす。 ②移動困難な高齢者に対しタクシー利用券を交付し、高齢者の外出を支援する。 ③錦川清流線、柱島航路の利用に関して、敬老優待乗車証を活用し、運賃の助成を行うことにより、高齢者の外出を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①緊急通報システムの利用者は743件となった。 ②タクシー利用券を9,230人に交付した。 ③敬老優待乗車証による運賃助成については、柱島航路が1,074件、錦川清流線が140件の申請があった。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 福祉部長 中本 十三夫

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送られるよう支えます。

高齢者支援課 設定者 課長 柏崎 太

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
利用者に対して適切なサービスを確認しつつ、介護給付費及び介護保険料を抑制していくことで、介護保険制度への信頼を高め、持続可能な介護保険制度の構築に取り組みます。	介護給付適正化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に必要な介護サービスを提供する。 ・不適正な給付を削減し、制度への信頼を高める。 ・介護給付費及び介護保険料を抑制し、持続可能な制度とする。 	①要介護認定の適正化（居宅介護支援事業所等、外部の事業所に委託した認定調査票の職員によるチェック） ②適切なケアマネジメントにより介護サービスが提供されるようケアプランの点検を行う。 ③縦覧点検及び医療情報との突合を行い、介護給付の適正化を図る。	①居宅介護支援事業所等の外部の事業所に委託した認定調査については、職員を替えて点検を行い、不明な点は調査員に照会することで要介護認定の適正化を図った。 ②ケアプランの質の向上や適切なケアマネジメントに資するため、77件のケアプランの点検を行った。 ③山口県国民健康保険団体連合会から提供されるデータを活用して月ごとに請求内容の確認を行い、誤りがあれば修正した。
地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域介護予防活動支援事業 ・生活支援体制整備事業 ・保健事業と介護予防の一体的実施 	通いの場の参加者、高齢者ボランティアの登録者を増やすなど、地域で活動する高齢者を増やし、高齢者の健康で自立した生活を維持する。	地域包括支援センターが介護予防教室を開催し、通いの場の立ち上げを支援する。社会福祉協議会と連携し、地域の支えあい活動を促進し、ボランティアの活動を広げる。	通いの場、通いの場（タイプ3）ともに、各2箇所が新規に立ち上がった。通いの場（タイプ3）は各圏域で1箇所以上活動している。高齢者生きがいボランティアグループは新規に2団体立ち上がり、101団体となった。
認知症の人やその家族が安心して生活できるように支援します。	認知症総合支援事業	地域での見守りや支えあいの取り組みを増やし、認知症高齢者やその家族が安心して暮らせるようにする。	①チームオレンジの活動を広げる。 ②認知症カフェや家族会の活動が開始、再開するよう支援する。	①周東・玖珂で、市内2箇所目のチームオレンジの活動が開始された。錦で次年度の活動開始に向けて準備している。 ②認知症カフェは新規に2箇所開設され、4団体が活動している。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 福祉部長 中本 十三夫

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送られるよう支えます。

障害者支援課 設定者 課長 津嶋 貴宏

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
障害及び障害のある人に対する理解を促進し、共生社会の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会活動への参加促進 ・コミュニケーション支援 ・障害理解のための啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者等、その家族又は地域住民による自発的な取り組みを支援 ・障害がある人の意思疎通を支援する専門人材の育成 ・発達障害者（児）に対する適切な支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な活動を実施する団体への支援事業の継続 ・専門講座終了者及び資格取得者への奨励金の支給 ・こども療育ガイドの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的活動を実施する団体への支援として2団体に助成を行った。 ・コミュニケーション支援を推進する中、資格取得に向けた奨励金の支給を6件行った。（令和4年度 0件） ・障害者週間にあわせて、12月9日～11日に作品展及び理解促進講演会を開催し、作品展に366人、講演会に170人の来場者があった。 ・こども療育ガイドの発行を行った。
障害者が自立した生活を送ることができる生活支援、就労支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・自立を希望する障害者への支援 ・障害児支援体制の充実 ・障害者の就労訓練・就労定着支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の生活を地域全体で支えるサービス体制の構築 ・障害児への身近な場所での通所支援 ・障害者雇用率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点を活用した地域生活への移行・定着 ・医療的ケア児、放課後デイサービス利用者への支援拡充 ・障害者共同受注センター参加事業所の工賃向上及び新規発注元の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点を利用した者は延6人いたが、体験利用にとどまり、地域生活への移行までには至らなかった。 ・放課後デイサービスについては事業所も2か所増え利用者への支援拡充が図られたが、医療的ケア児へは職員の研修、関係機関との情報交換会の実施にとどまっている。 ・共同受注センターへの参加事業は2事業所増え17事業所となり就労施設の確保は進んでいる。今年度の受注実績は、目標額1,500万円に対し、1,700万円を超える実績となったことで、目標額を達成するとともに、賃金水準の維持、向上が図られた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

福祉部（こども家庭担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 こども家庭担当部長 宮井 まゆみ

こどもの最善の利益を第一に、こどもが自分らしく生きていけるよう、家庭や地域社会の環境を整えます。

こども家庭課 設定者 課長 多谷本 直美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安心して妊娠・出産を迎えることができ、子供が健やかに成長・発達できるための取り組みを行う。	・妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及啓発 ・子育てに関わる関係機関や支援者等と母子保健の現状を共有し、連携した子育て支援の実施	出産後3か月頃の満足度（3か月時健診アンケートで「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。」の問いに「そう思う」と回答した保護者の割合）の割合が高くなる。	①妊産婦及び子育て家庭に対して、教室や健診などの場、母子モなどによる情報発信により正しい知識の普及啓発を図る。 ②保育園・幼稚園等施設、地域子育て支援センター、小児科等医療機関等、子育てに関わる関係機関との連携の維持、強化を図る。 ③第3期岩国市子ども・子育て支援事業計画に向けたニーズ調査、実態調査の実施	①出産後3か月頃の満足度で「この地域で今後も子育てをしていきたいですか。」の問いに「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した保護者の割合は令和4年度は98.5%、令和5年12月末では98.3%と高い割合を維持している。 ②「母子モ♡いわくに」を活用し、妊娠届の来所予約開始や情報発信、知識の普及啓発を進めた。 ③計画どおり調査等実施した。
子育て支援に向けた相談体制の充実を図る。	子どもとその家庭を中心とした包括的な支援、相談体制の整備・強化	こども家庭センターの周知を図り、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援の充実を図る。	①多様化、複雑化する相談支援について情報収集とともに、関係機関と連携を密にし、更に迅速な問題解決を図る。 ②妊娠期から子育てまで一貫して相談に応じ必要な支援につなぐ。 ③支援が必要な子どもとその家庭への支援計画の整備を行う。	①要保護児童対策地域協議会の実務者会議や個別ケース会議において、関係機関と連携し迅速な問題解決に結びつけている。 ②伴走型相談支援事業により妊娠期、妊娠7か月、出産後に面談等行い一貫した支援を行った。 ③必要に応じ支援計画を作成し支援を行った。
福祉医療費助成の適正化及びこども医療費の継続助成を図る。	福祉医療費助成及びこども医療費助成の適正な管理運営	・福祉医療費の誤請求の防止を図る。 ・こども医療費助成の継続に努める。	①国保連合会からのデータを活用した縦覧点検及び医療費請求情報との統合による点検	①レセプトを行う職員を配置し、誤請求を防止した。 電子申請を一部開始し、市民サービスの向上につながった。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

福祉部（こども家庭担当）の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 こども家庭担当部長 宮井 まゆみ

こどもの最善の利益を第一に、こどもが自分らしく生きていけるよう、家庭や地域社会の環境を整えます。

保育幼稚園課 設定者 課長 石井 寿浩

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
多様化する保育ニーズに応える就学前施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した公立保育園の再整備 ・子育て世帯に寄り添ったサービスの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育需要の高い地域の老朽化した施設を再整備する事により保育環境が向上する。 ・保育園等が担えるサービスを充実させることにより、子育て世帯の負担軽減や信頼性が向上する。 ・適切な定員設定を行う事により保育施設が安定的に確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひがし保育園、えきまえ保育園の建替え方針について太陽の家の今後も含め策定する。 ・おむつの自園処理を推進する。 ・送迎バスの園児とじ込み防止装置の整備 ・保育園の定員数について弾力的な見直しを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩国市立保育園の整備実施計画（第3次）を策定し、今後の施設整備について方針を示した。 ・公立園については令和6年度から全園でおむつの自園処理を行う。私立園については自園処理の実施のために必要な物品の購入に対する補助を実施した。 ・安全装置を設置するため補助制度を実施し、対象車両についてはすべて設置された。 ・令和5年度から、毎年度利用定員の見直しを検討する機会を設けることとした。
安心安全な放課後児童教室の整備と質の高いサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の解消のため場所や支援員を確保すると共に、保育内に工夫を加えこどもの健全な育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育場所を確保する事で放課後保護者のいない時間帯をこどもが安心して過ごせるようになる。 ・支援員の安定的な確保、安心安全な保育環境と健全な遊びの提供を行う事により保護者も安心してこどもを預けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の解消に向け待機が長期発生している教室について学校の協力を得つつ、新教室建設、店舗等の賃貸等も視野に入れ場所の確保を計画的に行う。 ・弾力的な支援員の運用が可能で、保育に関し専門的なノウハウを持った民間業者への放課後児童教室の委託を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩国放課後児童教室の待機児童解消のため、小学校の近隣で新たに教室を開設した。 ・岩国放課後児童教室、平田放課後児童教室及び玖西地区の6放課後児童教室について、民間委託による運営を開始した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康医療部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康医療部長 片瀬 智恵

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をするとともに、持続可能な医療環境の確立を目指します。

健康推進課 設定者 課長 岡崎 由起

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民一人一人が生活習慣病予防や心身の健康づくりに取り組むことができるような環境づくりを推進する。	健康づくり計画（中間評価）の結果を市民に周知・啓発しながら、主体的に健康づくりに取り組めるような環境づくりを推進する。	市民の健康づくりのために目指す方向性を地域部会や地区組織などの関係機関で共有する。 ・食育の推進 ・身体活動、運動の推進 ・地域とのつながり	地域部会や行政部会、地区組織（食推・母推・協賛企業等）と連携・協働しながら、推進する。 SNSなどの媒体を活用し、情報発信する。	地域部会や市民部会で健康づくり計画の目指す方向性を共有し、健康づくりを推進した。 ・夏期巡回ラジオ体操の開催 ・地域部会や協賛企業と協働した運動や食育の推進、健診の受診勧奨 ・健康セミナーの開催
市民一人一人が生活習慣病予防や心身の健康づくりに取り組むことができる。	がんの早期発見・早期治療や疾病予防、健康づくりのために健（検）診が重要であることを啓発し受診勧奨を行うと共に、受診後の保健指導の充実を図る。	特定健康診査（R3 30.2%）及びがん検診（R3 10.5%参考）の受診率、特定保健指導の実施率（R3 19.1%）を前年度より上げる。	健（検）診の受診の啓発を行い受診率の向上を図ると共に、特定保健指導の対象者が利用しやすい環境づくりを行うことで、生活習慣病予防の効果を高める。	特定健康診査（国保いきいき健診）の受診率32.7%（R4）、特定保健指導の実施率20.8%（R4）となり、いずれも前年度を上回った。 がん検診の平均受診率10.8%（R4）も前年度を上回った。
感染症予防のための普及啓発や予防接種を受けやすい環境整備を図る。	新型コロナウイルスに関する情報発信を行うと共に、ワクチン接種の体制を整備する。	新型コロナワクチン接種を希望する人が接種できる体制を整備する。	・ホームページなどを通じて適宜市民への情報発信を行う。 ・医師会など関係機関と連携しながら接種体制を整備する。	新型コロナワクチンの特例臨時接種が令和6年3月末まで延長されたが、医師会との連携のもと接種体制を図り、円滑に実施できた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康医療部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康医療部長 片瀬 智恵

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をするとともに、持続可能な医療環境の確立を目指します。

保険年金課 設定者 課長 山田 博之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安定した国民健康保険の運営	適正な保険料の賦課・徴収	<ul style="list-style-type: none"> 所得状況に応じて、適正に保険料を賦課するとともに、現年度収納率の向上に努める。 適正な予算執行に努め、安定的な事業運営に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 未申告者へ申告勧奨文書と申告用紙を送付して申告状況の把握を行う。 資格異動者への手続の勧奨を行う。 保険料未納者への催告を効果的にを行い、適正な滞納処分を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、未申告者、資格移動者へ手続き勧奨を行い、適正な保険料の賦課に努めた。 保険料未納者に対して、催告を行いつつ状況把握に努め、納付意思の希薄な滞納者に対しては適正に滞納処分を行った。
	適正な保険給付	保険給付を必要とする被保険者に対して適正な保険給付を行う。	療養費の支給制度や申請手続きについて適切な説明や周知を行う。	パンフレットの配布やHPでの周知を行った。
市民の健康増進への寄与と医療費の適正化を図る	後発医薬品の利用推進	<ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の利用に関する理解が深まり、利用率の数量シェア80%以上の状況を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品利用促進のための差額通知や周知パンフレット・希望カードに加えて、被保険者全員にシールの配布を行う。 薬剤師会にも周知パンフレット掲示等の協力を依頼し、利用促進を図る。 	薬剤師会の協力を仰ぎ、ジェネリック医薬品の理解を深めるための周知、普及活動を行った。
	保険事業の推進	糖尿病の重症化予防のため、糖尿病性腎症重症化予防事業の保健指導参加者の腎症の病期を維持する。	糖尿病未治療者や治療中断者等で事業参加者に対して、保健指導を実施する。	特定検診等で指導対象となった人に積極的に働きかけ、保身指導実施率を向上させた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康医療部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康医療部長 片瀬 智恵

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をするとともに、持続可能な医療環境の確立を目指します。

保険年金課 設定者 課長 山田 博之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の満足度を高める業務の遂行を目指す	効率的な業務の推進	業務改善を推進し、職員の能力向上を図ることで、効率的な業務が行えることを目指す。	組織内の所掌事務の見直しに取り組み、職員の業務に関する研修への参加を促す。	<ul style="list-style-type: none">・所掌事務を見直して効率化を進め、職員の負担軽減が図られた。・担当業務の知識を習得するため、各種研修に参加。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康医療部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康医療部長 片瀬 智恵

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をするとともに、持続可能な医療環境の確立を目指します。

地域医療課 設定者 課長 大島 辰巳

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市内医療機関等に勤務する医師や医療スタッフを増やす。	市内医療機関の医療スタッフの確保対策の推進	市内医療機関に勤務する医療スタッフの増加	医師確保の有効な手段の検討のため、関係機関との意見交換等を行い、確保対策を推進する。	やまぐち地域医療セミナーを実施し、R6年度から周産期医療体制確保事業を実施する準備を行った。
	医療スタッフの確保対策事業の実施	将来、市内医療機関に従事する医師・看護師の確保	・研修医受入支援事業の実施 ・看護学生修学資金貸付事業の実施	研修医受入支援事業・看護学生修学資金貸付事業を実施した。
玖北地域に将来にわたって持続できる医療提供体制を構築する。	持続可能な医療提供体制の検討	玖北地域において、持続可能な医療提供体制を構築する。	・病院事業との協議の継続 ・病院経営強化プランの作成及び実施	岩国市公立病院病院経営強化プランを策定した。
	市立病院の医療スタッフの確保対策	市立病院の医療スタッフを確保する。	医療スタッフの公募を行うとともに、新たな確保対策の実施	公募および紹介事業により、募集を行った。
	美和病院建設事業の推進	新病院の建設	建築工事の着手	建物本体工事・医師住宅・職員宿舎建設工事に着手している。
救急医療の堅持と適正受診の推進	岩国市救急医療対策協議会・専門部会の開催	関係機関において、本市の救急医療についての情報共有を行い、施策の方針を確認する。	専門部会を開催し、状況の把握を行うとともに今後の方針を確認する。	専門部会を開催した。
	救急医療機関への運営支援	本市の救急医療提供体制を確保する。	救急医療機関への運営支援を行うことにより、本市の救急医療体制を継続する。	救急医療機関へ運営支援及び感染症対策医療材料備蓄事業などを行った。
	救急医療適正受診の啓発	救急医療の崩壊を防ぐため、軽症者のコンビニ受診を抑制する。	様々な媒体を利用して啓発を行う。	様々な媒体を活用し、救急医療適正受診の啓発を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加納 芳史

岩国の魅力を高めて「選ばれるまち」となるため、効果的な情報発信を行いながら、既存産業の振興や創業の支援と国内外の人々を誘う観光のまちづくりを進め、地域経済の活性化を図ります。

商工振興課 設定者 課長 藤村 聡明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
製造業等の企業誘致、設備投資に加え、情報・通信産業等を営む企業やサテライトオフィスの誘致を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所等設置奨励金及び雇用奨励金事業 ・IT・コンテンツ産業等オフィス誘致推進事業 ・サテライトオフィス等活用促進事業（サテライトオフィス誘致支援） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化や雇用機会の拡大に寄与する幅広い企業誘致を推進する。 ・IT企業やサテライトオフィス等を誘致し、新たな雇用やイノベーションを創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の新設、増設に対する支援 ・ITコンテンツ産業やサテライトオフィスの開設経費等に対する支援 ・地方へ進出意欲のある企業に対する誘致に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を新設、増設した3社の企業に対して支援 ・IT・コンテンツ産業等による3社の進出企業に対して支援。 ・進出検討企業とweb面談等を実施し、3社の進出決定に繋がった。
起業、創業を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・しごと支援型地域活性化事業 ・創業支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業者や創業希望者に適した一体的な支援を行い、起業、創業を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアオフィスやコワーキングスペースの提供 ・創業に必要なセミナーや個別相談など伴走型の支援 ・創業に必要な改装費などの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアオフィスは7区画のうち6区画入居。コワーキングスペースも多数の人が活用した。 ・C i a s s e r B i zにてイベントセミナーや個別相談会を実施し19人が創業した。 ・改装費などに対する補助金を活用して12人が創業した。
若者や就職希望者の就業を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・若者就職支援事業 ・市内企業情報発信事業 ・サテライトオフィス等活用促進事業（テレワーク人材育成） 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者就職支援イベントの実施や市内事業所の紹介、テレワークの育成などにより、市内就業を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に向けたセミナーやイベント、合同就職フェア開催 ・市内企業の情報を冊子やホームページにより発信 ・テレワーカー育成のためのeラーニングや研修、就業サポートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同就職フェアを開催し、企業46社、67人の学生や求職者が参加した。 ・市内企業の情報発信として、前年度より多い98社を掲載した。 ・テレワーカー育成のためのeラーニングにより、5人が就労した。
中心市街地のにぎわいを創出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか再生事業 ・まちづくりアドバイザー活用事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体によるまちづくり活動を促進し、中心市街地の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者に対する店舗改修等に要する費用の支援 ・地域住民等による共通の将来像実現に向けたまちづくり活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか再生事業については、30件活用があり魅力ある店舗づくりに繋がった。 ・まちづくり会社、商店街及び再開発事業者で連携したまちづくりを推進する協定を締結した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加納 芳史

岩国の魅力を高めて「選ばれるまち」となるため、効果的な情報発信を行いながら、既存産業の振興や創業の支援と国内外の人々を誘う観光のまちづくりを進め、地域経済の活性化を図ります。

観光振興課 設定者 課長 山本 隆

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
観光交流人口の拡大	「錦帯橋のう飼」の保存・継承	「錦帯橋のう飼」の保存・継承について今後の方向性を検討し、方針の素案を決定を目指す。	う飼遊覧を実施している岩国市観光協会と協議連携し、他市のう飼を調査研究するとともに、「錦帯橋のう飼」についての方向性を協議検討する。	岩国市観光協会と連携し、岐阜市、犬山市など他市のう飼状況を調査したことにより、本市の課題を把握できた。今後、岩国市観光協会と来年度以降において今後の方針等を具体的に検討し決定する。
観光情報の発信	効果的な情報発信の充実	フェイスブックとインスタグラムのフォロワー数を合計で700以上の増加を目指す。	委託事業者と連携し、効果的な記事を掲載すると共に、各種イベント等で周知を行うことにより、フォロワー数の増加を図る。	フェイスブック 約800増 インスタグラム 約1,000増 フェイスブック、インスタグラム共に目標を大きく上回った。 民間事業者と連携した情報発信による成果となった。
観光・交流施設等の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の整備 観光駐車場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 観光トイレの整備を目指す。 観光大型バスや普通乗用車の観光駐車場の整備を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光トイレの基本設計を行う。 観光駐車場の造成工事及び観光駐車場予定地における地権者との用地交渉を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 錦帯橋ビジターセンター整備の休止に伴い、観光トイレの基本設計も休止となった。 観光駐車場の造成工事や観光駐車場予定地の用地交渉は継続して進めることができた。
空港の利用促進	空港利活用の促進	羽田線・沖縄線での搭乗率を令和元年度と同等までの回復を目指す。	岩国錦帯橋空港利用促進協議会や岩国錦帯橋空港支援協議会などの関係団体と連携を図り、利活用について効果的なPRを実施する。	羽田線搭乗率 約62% 沖縄線搭乗率 約69% 羽田線では、令和元年度と同等までは至っていないが、沖縄線については、令和元年度の58%を大きく上回り、効果的なPRにより成果につなげることができた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加納 芳史

岩国の魅力を高めて「選ばれるまち」となるため、効果的な情報発信を行いながら、既存産業の振興や創業の支援と国内外の人々を誘う観光のまちづくりを進め、地域経済の活性化を図ります。

シティプロモーション課 設定者 課長 光井 国康

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
シティプロモーションを戦略的に推進し、交流人口・関係人口の拡大を図る。	市の魅力PR事業	本市の地域資源、独自の施策やサービス等を市内外へ効果的にPRし、本市への関心が高まる。	①まちの魅力一元サイトを構築するとともに、テレビやSNS等の媒体、ARなどの先進技術も活用しながら、市の魅力を発信する。 ②広いエリアで訴求性の高いイベント、プロモーションや交通広告等を実施する。 ③市の魅力を体感していただくため、中山間地域のワーケーション施設の活用を図る。	①住まいや暮らし、子育て、仕事など、必要な情報が集約された、まちの魅力一元サイトを構築した。 ②市内外でのイベント開催や、テレビメディアやSNS等を活用して、プロモーションを実施した。 ③市内外の企業へ訪問し、中山間地域のワーケーション施設の周知を図った。
商品・サービス等の地域ブランド化を推進し、岩国ブランドの認知度の向上を図る。	地域ブランド推進事業	①高付加価値化や販路の拡大を支援し、購入したいと思える商品やサービス等を増やす。 ②岩国ブランドの魅力が全国で認知されて、特産品の購買力が向上し、地域産業が活性化される。	①お土産統一ブランド「つまんでちょんまげ」の商品改良、新商品開発や販路拡大等を支援し、首都圏を中心にイベント出展を行う。 ②特産品の地域ブランドとしての価値が適正に評価される市場・販路を開拓する取組を支援する。 ③魅力ある返礼品の創出を支援して、ふるさと納税を促進する。	①商品開発を支援し、地域ブランド化の推進を図るとともに、市内外でイベント販売を実施した。 ②ANA産直空輸を活用して、首都圏で、特産品のイベント販売を実施した。 ③返礼品の開発支援や、取扱サイトを増やすなどして、ふるさと納税の促進を図った。
地域、関係機関、団体等と連携を図り、移住・定住施策に一体的に取り組む。	移住・定住促進事業	効果的な情報発信、体験施設の整備、相談・受入体制の充実化を図り、移住・定住を促進する。	①首都圏を中心とした移住・定住フェアに参加するとともにセミナーを開催する。 ②空き家情報登録制度の推進、空き家修繕費等助成制度の周知、IJU（移住）応援団の設置を促進する。 ③市の魅力を体感していただくため、いわくに暮らしお試し住宅の活用を図る。	①東京や大阪で開催された移住フェア等に参加し、移住の促進に取り組んだ。 ②空き家登録制度の充実化に向け、意見交流会を実施した。 ③市のホームページやSNS等を活用して情報発信を行い、施設の周知や利用促進を図った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

農林水産部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産部長 藏田 敦

活力あふれる農山漁村づくりに向けて、地域の特性を活かした持続的で安定した農林水産業を推進します。また、安心・安全な農林水産物の提供に向けて、市場経営の合理化及び活性化を図ります。

農林振興課 設定者 課長 若林 敏彦

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やす。	就農開始直後の経営安定を図る農業次世代人材投資事業	認定新規就農者を毎年確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談（随時） ・就農計画の策定を支援（随時） ・就農認定後に給付金を交付（原則年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談（随時）、就農相談会開催（1回）、県ガイダンス参加（2回）ほか ・認定新規就農者 新たに1名認定 ・次世代人材投資資金 2名
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド牛産地づくり事業 ・市有牛貸付制度 	ブランド牛となる市有牛の飼育（貸付）頭数を130頭にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・優良子牛保留支援（随時） ・市内産優良子牛導入支援（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・優良子牛の保留に向けた支援を実施した。 ・ブランド牛導入補助 3月末時点 56頭
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やす。	林業担い手育成支援事業	森林組合等の林業経営体への雇用を毎年確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を活用した新規就業者用の物品、講習等費用の補助を行う（随時） ・国、県の研修参加者確保に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に岩国地域農林水産業就業・移住相談会を開催し、林業事業体2社が参加し、相談を受けた。 ・林業経営体が新規就業者の確保、育成に必要な林業用物品の購入費用、講習等費用の一部に対し、3名分の補助金を交付した。
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害防止対策事業 ・有害鳥獣捕獲事業 	被害を減少させるため、進入防止柵の設置などの「被害防除」、捕獲による「個体数管理」等の対策を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・防護柵設置支援（随時） ・猟友会等による捕獲業務支援（随時） ・被害防止対策の周知（随時） 	128件の鳥獣害防止対策事業補助金を交付（3月末時点）し、総計23,708mの被害防止柵を設置した。捕獲数は、イノシシ・アナグマ・クマについて大幅に増加した。さらに個体数管理のため、各種箱わなを管内配備するとともに、サル用大型捕獲檻も3基設置し、管理体制を強化した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

農林水産部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産部長 藏田 敦

活力あふれる農山漁村づくりに向けて、地域の特性を活かした持続的で安定した農林水産業を推進します。また、安心・安全な農林水産物の提供に向けて、市場経営の合理化及び活性化を図ります。

農林整備課 設定者 課長 佐伯 史公

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
農山村の生活環境の向上と、農地・森林等の基盤整備及び環境保全を進めることで、経営意欲の高い担い手を育て、持続可能な農林業の環境を整える。	農山村生活環境施設の整備・保全	農村生産基盤の整備と併せて生活環境を充実させる。	農業農村整備事業及び特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、農山村生活基盤の整備・保全を行う。	後迫水路整備事業の工事に着手し、新規県営中山間地域総合整備事業の調整を行う等、農山村生活基盤の整備・保全について年次目標を達成できた。
農山村の生活環境の向上と、農地・森林等の基盤整備及び環境保全を進めることで、経営意欲の高い担い手を育て、持続可能な農林業の環境を整える。	多面的機能支払事業による農山村環境の整備・保全	・地域資源である農地・水路及び農道の維持と資源向上を行う。 ・共同活動を推進する。	多面的機能支払（農地維持支払・資源向上支払）交付金による集落ぐるみの共同活動を支援する。	活動組織数は32組織と増減はなかったが、取組面積が若干減少している状況であり、今後も新規活動組織の参加を促せるよう支援をしていく。
農山村の生活環境の向上と、農地・森林等の基盤整備及び環境保全を進めることで、経営意欲の高い担い手を育て、持続可能な農林業の環境を整える。	林道開設・改良・保全事業による森林基盤整備・保全	林道の開設及び改良による林道密度の向上を図る。	農山村地域の振興や生活環境の改善、効率的な林業経営及び森林の適切な管理のための林道開設・改良及び保全を行う。	県施行林道開設事業による林道密度の向上に併せ、森林環境譲与税を活用し既存林道の舗装改良や保全整備を行い年次目標を達成できた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

農林水産部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産部長 藏田 敦

活力あふれる農山漁村づくりに向けて、地域の特性を活かした持続的で安定した農林水産業を推進します。また、安心・安全な農林水産物の提供に向けて、市場経営の合理化及び活性化を図ります。

水産港湾課 設定者 課長 下岡 新治

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
水産業の経営支援と育成をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・稚魚等放流事業 ・離島漁業再生支援事業 	<ol style="list-style-type: none"> ①各種有用稚魚を放流し栽培漁業を推進させ、水産資源を管理する。 ②離島漁業集落が行う漁業生産活動を活性化させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①漁業者と協力して、放流量や場所等を調整し計画的に実施する。 ②離島漁業再生支援交付金を支給して支援する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①各漁業協同組合と調整して、有用魚種の稚魚を計画的に放流できた。 ②交付金を活用した漁業集落による活動が活発に行われ、漁業の活性化・振興が図られた。
漁村の生産環境の向上と生産基盤の整備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・由宇漁港水産物供給基盤機能保全事業 ・端島漁港水産物供給基盤機能保全事業 	<ol style="list-style-type: none"> ①老朽化が進んでいる漁港施設用地護岸を改修し、漁港施設の安全性、漁業活動の利便性と長寿命化の向上を図る。 ②端島漁港の老朽化した物揚げ場護岸を整備し、漁業者の安心・安全な施設利用を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①水産物供給基盤機能保全事業補助金により実施する。 ②水産物供給基盤機能保全事業補助金により実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①補助金により継続事業として実施し、本年度で事業が完了した。 ②補助金により継続事業として整備中であるが、令和5年度施工分は、令和6年度に一部繰り越し現在施工中である。
自然環境の保全と管理をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣被害防除事業 ・水産多面的機能発揮事業 	<ol style="list-style-type: none"> ①食害被害を防ぐため、追払い及び駆除を行い羽数の適正化を図る。 ②漁業者による藻場・干潟や漁場等の保全活動により、水辺の多面的機能を、将来にわたり持続的に発揮させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①関係漁業へ委託し実施する。 ②水産多面的機能発揮事業費補助金を活動グループに支給する支援を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①関係漁協に委託し実施したが、羽数の適正化には至っていない。 ②活動グループと意思疎通を図りながら支援し、漁業者等による干潟の保全活動により機能を維持できた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

農林水産部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産部長 藏田 敦

活力あふれる農山漁村づくりに向けて、地域の特性を活かした持続的で安定した農林水産業を推進します。また、安心・安全な農林水産物の提供に向けて、市場経営の合理化及び活性化を図ります。

流通課 設定者 課長 荒川 大五

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の食生活の安定及び向上に資するため、市場の適正かつ健全な運営を確保する。	経営戦略の推進	市場事業を将来にわたり安定的に継続させるため、令和3年3月に策定した経営戦略を推進し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に資する。	空き店舗、空き施設の解消を目指し市ホームページ等に掲載し募集を図る。	空き施設へ1業者が入場。これにより1,397千円/年の使用料増加が見込まれる。
地産地消を推進し、地場野菜の市場供給率を向上させる。	農産組織を育成・支援する。	農業振興及び市場出荷に寄与する農産組織を支援することにより、地場野菜の市場出荷を促進する。	栽培研究や出荷資材等に要する経費の一部を補助し、市場出荷する農産組織の育成、支援を行う。	出荷資材補助の他、栽培研究費等の有効活用について助言を行い、農業振興及び市場出荷を支援した。
	地場野菜の消費拡大を図る。	生産から流通、販売、消費に至るまでの体制を強化し地場野菜の消費拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 関係諸団体と連携した販売促進活動を実施する。 料理講習会や主催・共催イベント等を通じ、地場野菜をPRする。 	岩国れんこんの販売促進活動を各種イベントで9回実施。うち、産直空輸を利用し、関東圏での販売促進を4回実施。 ・岩国れんこん掘り取り体験を3回実施。(一般消費者、小学校、幼稚園) ・料理教室を5回実施し、地場野菜、地場水産物のPR、消費拡大を図った。
	地場野菜の販路拡大を図る。	市場における多様な出荷、販売経路を利用し、地場野菜の市場出荷の安定及び増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 市場内にある岩国学校給食センターへの食材納入体制を強化し、関係機関の情報共有による地場野菜の確実な納入及び納入量の増加を図る。 広島広域都市圏事業の中で、地場野菜の販路拡大を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> 月に1度、学校給食納入会議を開催。 学校栄養士を対象にした産地交流会を1回実施。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 村重 総一

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要な施設の整備や施設の適切な維持管理に取り組みます。

道路課 設定者 課長 坂本 剛

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
楠中津線などの幹線道路の整備に努める。	楠中津線等幹線道路整備事業	楠中津線の第1工区の延長790mについて、令和8年度の完成を目指す。	楠中津線（第1工区、L = 790m）の工事を進める。	令和3年度に工事着手後、年度計画に沿って事業展開しており、令和5年度工事についても、順次工事に着手するなど、計画どおり進捗している。
主に生活道路として利用される市道の整備を進める。	市道（生活道路）整備改良事業	市道の改良率を毎年0.1%（約1.5km）向上させる。	狭あいな市道を4m以上に拡幅改良する。また、民間の開発行為を適切に指導し、良好な市道を構築する。	地権者の協力を得て適切な用地交渉を実施し拡幅改良を実施した。また、民間の開発行為による帰属や県道降格を受け、改良済延長が増加したこともあり、目標値を達成した。 令和4年度 58.97% 令和5年度 59.14% (4,300m増)
通学路危険箇所の安全対策を実施する。	交通安全施設整備事業	通学路合同パトロールの要望箇所を10箇所実施する。	通学路の改善要望箇所について、地域の実情を踏まえた効果的、効果的な安全対策を実施する。	合同パトロールにおける改善要望箇所15か所のうち、10件について対策が完了しており、歩道要望2箇所についても設計に着手した。
橋りょう等の安全性と利便性を向上させるために長寿命化及び耐震補強を実施する。	橋りょうの長寿命化事業及び耐震補強事業	橋りょうの点検結果に基づき、修繕・補強を10橋実施する。	長寿命化修繕計画等に沿って、緊急性、重要性の高い橋りょうから長寿命化事業及び耐震補強事業を実施する。	橋の重要度、損傷の程度などを考慮し、優先順位の高い橋梁から計画性をもって修繕を進めており、目標値を達成している。 完成件数 令和4年度 14橋 令和5年度 24橋

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 村重 総一

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要な施設の整備や施設の適切な維持管理に取り組みます。

河川課 設定者 課長 土井 浩義

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
土砂災害防止に向けた対策の推進と啓発活動	土砂災害警戒区域等の周知と急傾斜地崩壊対策事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への警戒区域の周知 ・対策事業に関する事前説明会 ・対策事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報による情報提供の継続 ・個別説明会の開催 ・小規模急傾斜地崩壊対策事業等の推進 ・急傾斜地崩壊対策における新制度の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報による情報提供の実施 ・個別説明会の実施 ・小規模急傾斜地崩壊対策事業等の推進及び実施 ・急傾斜地崩壊対策における新制度の創設を検討中
雨水排水路の整備	雨水排水等排水路整備による浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> ・排水路の計画的改修 ・浸水常習地区の対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛野谷地区、愛宕地区、楠地区、楠・中津地区、多田地区及び錦見地区の排水路整備 ・横山地区及び南岩国町一丁目地区の浸水対策策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・楠地区、楠・中津地区、多田地区排水路整備完成 ・牛野谷地区、愛宕地区、錦見地区の排水路整備継続中 ・横山地区及び南岩国町一丁目地区の浸水対策策定継続中
浸水被害軽減のための浚渫や河川改修	浸水被害を防ぐための排水対策事業の推進	準用、普通河川の能力不足の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急浚渫推進事業の推進 ・緊急自然災害防止対策事業の推進 ・河川改修の計画的実施 ・過年災害復旧工事の早期完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急浚渫推進事業を計画的に実施中 ・緊急自然災害防止対策事業を計画的に実施中 ・河川改修を計画的に実施中 ・過年災害復旧工事は早期完成済

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 村重 総一

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要な施設の整備や施設の適切な維持管理に取り組みます。

下水道課 設定者 課長 瀬戸 正義

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
効率的な汚水処理構想を構築し、下水道普及率の向上と下水道施設の適切な維持管理を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な汚水処理構想を構築する。 計画的な工事発注に努める。 工事及び維持管理は安全を第一に行う。 	下水道処理人口の処理率を年間0.5%向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> 家屋の密集地又は人口密集地域から優先して工事発注する。 工事の施工は、施工計画を充実させて安全を第一に行う。 	下水道処理人口の処理率0.5%の向上は概ね達成出来き、工事も施工計画を充実させて事故なく施工しました。
経費削減に努め、下水道事業の健全な経営を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 適正な事務処理を行う。 適切な予算編成と適切な会計処理を行う。 	監査からの指摘がないようにする。	担当者任せにせず、承認者全員がチェックする。	監査からの指摘もなく適正に事務処理を行っています。
下水道使用料の収納率の向上と不納欠損額の減額を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道料金徴収一元化に伴う円滑な徴収事務に努める。 滞納整理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 収納率を前年度より上げる。 上下水道料金の同時徴収の状況を見ながら滞納整理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 水道局職員と調整を図りながら利用者の理解が得られるよう説得する。 電話での催告を行う。 納付誓約をとる。 差押えを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 収納状況は平年並みとなっています。 滞納整理は計画的に行っています。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 村重 総一

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要な施設の整備や施設の適切な維持管理に取り組みます。

都市排水施設課 設定者 課長 長津 信之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
下水道施設の維持管理とストック・マネジメント計画を基にした改築の推進を図る。	ストック・マネジメント計画の改築事業計画に沿った事業の実施	改築を推進することによって、ライフサイクルコストの縮減を図る。	社会資本総合整備計画に沿った事業の進捗管理	ストック・マネジメント計画の改築計画に沿って整備を進めることができた。
装束・川下・横山地区のポンプ場整備を計画的に進める。	土木・建築・機械・電気等各工事の進捗状況を把握し計画的に工事を進める。	装束・令和5年度、川下・令和12年度、横山・令和11年度完成を目指している。	それぞれのポンプ場の完成目標に沿った年次計画を基に事業の進捗管理	装束地区において、ポンプ場場内整備工事が関係機関との調整により翌年度に繰り越すこととなったが、川下・横山地区においては、年次計画どおり順調に整備を進めることができた。
雨水ポンプ場施設の維持管理・改築・修繕を行い、施設の最適化を図る。	緊急自然災害防止対策事業を活用し計画されたポンプ場の修繕、改築を進める。	平田ポンプ場・令和5年度、小瀬ポンプ場・令和6年度、小舩ポンプ場・令和7年度の完成を目指している。	それぞれのポンプ場の完成目標に沿った年次計画を基に事業の進捗管理	平田ポンプ場については、計画どおり整備が完了し、小瀬ポンプ場については、予定どおり事業に着手できた。また、小舩ポンプ場については、事業予算の計上を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 内坂 武彦

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

都市計画課 設定者 課長 長谷 倫孝

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
幹線道路の事業進捗率を増加させる。	岩国大竹道路及び藤生長野バイパスの幹線道路の早期整備促進	岩国大竹道路及び藤生長野バイパスの早期完成に向け、国の幹線道路整備予算が計上され事業進捗がみられる。	<ul style="list-style-type: none">・早期整備等に向け、国土交通省等の関係機関に要望を行う。・事業の進捗に向け、随時行われる各種調査・協議等について、県等の関係機関とも連携のうえ、適切に対応する。	<ul style="list-style-type: none">・早期整備に向け、国土交通省等の関係機関への要望活動を実施した。・岩国・大竹道路は、室の木IC、（仮称）岩国トンネルの工事等が進捗しており、藤生長野バイパスについては、令和6年1月から用地買収を行っている。
地域特性を活かしたまちづくり計画を作成する。	土地区画整理事業見直し計画策定事業	<ul style="list-style-type: none">・西岩国駅前については、まちづくり協議会を設立し、土地区画整理事業に代わるまちづくり計画を住民とともに策定する。・南岩国駅前については、都市構造再編集集中支援事業を実施し、土地区画整理事業に代わるまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none">・西岩国駅前については、まちづくり協議会の設立と、協議会におけるまちづくり計画の策定を支援する。・南岩国駅前については、まちづくり整備計画を策定し、整備計画に基づく具体的な事業スケジュールを検討する。	<ul style="list-style-type: none">・西岩国駅前については、協議会を設立し、計画の策定に向けて活動を進めた。・南岩国駅前については、整備計画の策定や、土地区画整理事業の廃止等を行うと共に、都市構造再編集集中支援事業の実施に必要な事業計画の取りまとめを行った。
予測される都市構造の変化に対応したまちづくりの計画を行う。	予測される都市構造の変化に対応した都市計画の推進を行う。	計画決定当時から社会情勢が大きく変化中、関係機関と連携し、都市計画の見直しの必要性等を検討し、また、立地適正化計画を推進し、持続可能なまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none">・都市計画決定の変更・廃止等の手続きについて市及び県の関係機関等と連携のうえ、適切な時期に実施できるよう調整を行う。・立地適正化計画を推進するため、防災指針の策定を踏まえた計画の改定を関係機関との協議・調整のうえ進めていく。	<ul style="list-style-type: none">・関係機関との協議・調整を図り、適切な期間内に都市計画道路・区画整理事業・下水道の都市計画変更を完了した。・立地適正化計画を推進するため、防災指針の策定を含む計画改定に向け、協議会での審議を重ね、現状や課題についての整理を行い、来年度の改定・公表に向けて作業を進めた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 内坂 武彦

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

景観整備課 設定者 課長 片野 光一

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
良好な景観の形成に向けた景観街づくりを推進する。	景観形成事業補助金の活用推進	歴史的建築物やまちなみを保全するとともに、周囲の歴史的なまちなみと調和した建築物が建てられ、良好な景観を目指す。	修繕対象物件所有者の理解を深めて、横山・岩国重点地区の修景・修繕助成を12件以上行う。	横山・岩国重点地区内の住民に対し、6月1日号市報と同時に補助制度の案内パンフレットを全戸配布し、目標を上回る修景・修繕助成18件を行うことができた。
山口県屋外広告物条例に基づいた屋外広告物の設置を推進する。	市の独自条例制定に向けた取組の推進	良好な景観を形成し、風致を維持するとともに、公衆に対する危害を防止することを目指す。	年2回程度、路線を決めて屋外広告物の掲出状況を確認し、違反物件の把握に努めるためパトロールを実施する。	今年度も年2回、路線を決めて違反パトロールを実施することができた。
歴史的建物と周辺の市街地が一体となって形成してきた良好な市街地環境の維持・向上を推進する。	歴史的風致維持向上計画策定	拠点施設の整備、まちなみ整備歴史的活動の継続などに対する取組みにより、まちなみ全体の歴史的風致の維持・向上を目指す。	歴史的なまちなみと一体となって風情情緒たずまいのある良好な市街地の環境を向上させ、後世に継承していくため計画を策定する。	計画策定に向け協議体制を確立し、複数回に及ぶ協議を実施。パブリックコメントも行い、令和6年度に国からの認定により、計画策定が完了する見通し。
城下町地区における官民協働によるまちづくりを推進する。	「城下町地区グランドデザイン」の推進	グランドデザインに基づく推進体制により、官民協働のまちづくりの推進を目指す。	まちづくりへの取り組みが円滑に進むように、地域との意見交換会や庁内プロジェクトチーム会議等を随時実施する。	地域との意見交換会や庁内プロジェクトチーム会議を実施し、官民協働によるまちづくりの推進を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 内坂 武彦

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

公園施設課 設定者 課長 木村 房俊

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
公園緑地の整備等を推進	岩国市みどりの基本計画に基づいた公園緑地の保全及び緑化の推進	市民ニーズを把握し、人々が集い安らぎのある公園緑地の整備を目指す。	公園内の芝生化や樹木管理など、みどりを守り育てる体制づくりの活動支援や情報発信	新港町街区公園の芝生化を始め、花の苗支援事業を10公園で実施。また本郷・美和・玖珂地域を対象とした桜保全活動や宇佐川小学校での桜講座を実施した。
街区公園の整備等を推進	岩国市都市公園施設長寿命化計画に基づいた効率的な整備、維持管理の推進	市民ニーズを把握し、誰もが安心・安全に利用できる公園整備を目指す。	老朽化した公園施設の更新やトイレのバリアフリー化の実施	公園施設の更新工事として、5か所の公園にて実施。また、1か所の公園トイレのバリアフリー化を行った。
市民協働による街区公園等の維持管理の推進	まちづくり協議会や市民団体との意見交換を踏まえ、持続的な活動を進める。	公園の清掃奉仕活動や緑化・芝生化の推進活動への支援	清掃活動や緑化活動に必要な資材・器具の配布または貸し出し。	清掃活動への支援として、「清掃器具の配布」や「ごみの収集対応」のほか、自治会からの要望に対し、「自走式芝刈機の貸出し」を26自治会へ延べ90回実施した。
駐車場や駐輪場の改修及び維持管理の推進	計画的な改修を行い、効率的な活用を図る。	駐車場の改修については、優先度の高いものから順に行っていく。	三笠橋駐車場エレベーターの改修および駅前自転車駐車場の防犯カメラの更新	計画した三笠橋駐車場エレベーターの改修及び駅前自転車駐車場の防犯カメラ更新を実施した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 内坂 武彦

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

都市拠点整備課 設定者 課長 岡原 達也

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
岩国駅前南地区市街地再開発事業の推進	岩国駅周辺再開発事業	再開発組合の事業計画認可を受けること。	組合の事業計画への指導や関係機関との調整などの支援を行う。	定期的組合理事会に出席するとともに、組合への指導助言、関係機関との調整を行い、次年度当初の事業計画認可申請が行われることとなった。
にぎわい創出施設整備事業の推進	岩国駅周辺にぎわい創出施設整備事業	再開発事業スケジュールに合わせて図書館機能を核としたにぎわい創出施設の整備を目指す。	にぎわい創出施設整備に向け、実施設計を行う。	再開発事業との調整を行いながら、実施設計の遂行を行った。
南岩国駅前広場、新岩国駅前広場の整備による交通結節点の機能強化及び利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 南岩国駅周辺整備事業 新岩国駅前広場整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度中の南岩国駅前広場等の完成を目指す。 新岩国駅前広場について整備を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 南岩国駅前広場及び駐輪場の整備工事を実施する。 新岩国駅前広場について建築設計業務を実施し、計画を軌道に乗せる。 	駐輪場については、関連工事の影響があり次年度への繰り越しとなったが、その他の整備については、年度末の整備完了となった。
黒磯地区における福祉・科学学習施設を核とする「いこいと学びの交流テラス」の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> いこいと学びの交流テラス整備事業 いこいと学びの交流テラスアクセス道路整備事業 愛宕山1丁目ほか急傾斜地安全対策事業 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に建築工事に着手し、令和7年度末の完成を目指す。 いこいと学びの交流施設と藤生駅を結ぶアクセス道路の整備を推進する。 令和5年度に設計を行い、令和7年度末の完成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉・学習施設や屋外トイレ、また公園や駐車場等の整備を実施する。 用地測量や補償費算定業務を実施し、用地取得等の準備を行う。 詳細設計業務を実施し、次年度工事に向けて地元調整を行う。 	予定通り、建築工事に着手することができ、アクセス道路についても予定業務に着手することができた。また、地元説明会等を実施し、地元調整も図っている。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 内坂 武彦

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

建築指導課 設定者 課長 兼田 義浩

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安全な宅地の形成や開発行為による良好な市街地の形成を図る。	都市計画法、宅地造成等規制法の適正かつ的確な審査や検査を行うとともに、盛土造成宅地の耐震化の促進に努める。	法令遵守を的確に指導対応することで、安全で良好なまちづくりにつながる。	開発許可、宅地造成許可において、適用基準の遵守を指導する。また、宅地耐震化推進事業を着実に進めていく。	開発許可、宅地造成許可について、適正な審査を実施するとともに、宅地耐震化推進事業の二次スクリーニング計画における調査を15か所実施した。
建築物の建設及び既存建築物の維持保全等において、安全性や住環境の向上を図る。	建築基準法、建築物省エネ法等、長期優良住宅法等の適正かつ的確な審査や検査業務を行うとともに、既存建築物の維持保全を図る。また、耐震改修促進法に基づき建築物の耐震化の促進に取り組む。	関係する法令遵守を確実に実施するよう指導対応することで、安全で快適な建築物の住環境が図れるとともに、持続可能な環境の構築につながっていく。	建築確認や許可、省エネ適合判定や届出、低炭素建築物認定、長期優良住宅認定等の審査や検査を適用規定の看過や誤認がないよう、法令遵守を指導する。	建築確認や許可を適正に審査するとともに、建築物省エネ法等の改正について条例改正を遅滞なく行い、法令順守の周知徹底を図った。
専門分野（土木・建築）における知識の習得等、技術力の向上を継続的に取り組む。	職種や職位にあった各種研修の積極的な受講推進や資格取得に向けた学習を支援する。	職員全体で資格取得や技術力の向上に継続的に取り組むことで、安定的な人材確保と変動する技術の進化に伴う高い専門性に対応できる。	国土交通大学校や全国建設研修センター等が実施する専門性のある研修を計画的に継続して受講する。また、各種会議等の議題検討など主体的に意見をもって参画する。	国土交通大学校や全国建設研修センター等の実施する研修に参加し、職員のスキルアップに努め、技術力の向上を図った。
各種申請や届出において、的確かつ迅速な行政サービスの提供を図る。	質の高い相談対応が適宜行えるように情報共有や各分野との連携を図る。	対応や指示、指導の食い違いや手戻りをなくし、相談者が満足できる行政サービスの提供を行う。	相談内容やその対応等について課内で情報共有を図り、逐次確認し、必要に応じて修正対応等に速やかに応じる。	相談や照会事項について、情報共有を図り、適宜、必要に応じて協議対応を迅速に行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 内坂 武彦

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

建築住宅課 設定者 課長 坂上 千晶

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市営住宅の適正管理及び戦略的な住宅供給に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 関係施策と連携した住宅供給 市営住宅の立地と供給の適正化 	<ol style="list-style-type: none"> 子育て施策や移住定住施策と連携し、情報提供する。 市営住宅長寿命化計画に基づき住宅供給の適正化を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 関係施策と併せた住宅取得に関する情報提供 若者定住・特定公共賃貸住宅のPR 老朽化等団地の用途廃止等を行っていく。 	<ol style="list-style-type: none"> 被災者提供住宅等、情報提供及び情報共有を行った。 総合支所と連携し実施 1件 用途廃止 3戸 解体除去 3戸
居住支援体制の構築に取り組む。	住宅確保要配慮者が暮らし続けることができる住環境の提供	①福祉部局と住宅部局が連携した居住支援体制を構築する。	<ol style="list-style-type: none"> 相談対応の連携を図る。 市営住宅の住戸改善を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> 入居者の生活環境向上の取り組みに協力し、実施した。 市営住宅の住戸改善 5戸 市営住宅の外壁改修 2棟 市営住宅の屋根改修 2棟
空き家対策の推進や建築物の耐震化の促進に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の管理徹底、老朽化予防の働きかけ。 建築物耐震化の促進の働きかけ。 	<ol style="list-style-type: none"> 関係する多くの情報を発信する。 相談体制の強化を図る。 助成制度の推進を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 空き家の適正管理の推進と増加抑制に向けた情報発信 危険な空き家の解体費用の助成 建築物の耐震診断・改修工事費用の助成等 	<ol style="list-style-type: none"> 空き家対策セミナー及び個別相談会を実施 1回 危険空家解体費補助 16件 木造住宅耐震診断 15件 木造住宅耐震改修 1件 危険ブロック塀除去 4件
人と環境にやさしい公共施設（建築物）の整備を推進する。	建築・設備関係の専門的分野における技術力の向上に努め、各事業における公共施設（建築物）の適正な整備・保全の取組	<ol style="list-style-type: none"> 専門的な技術力を生かし、設計や工事監理に役立てる。 各事業の目的や計画に則した整備を進めるとともに、誰もが利用しやすく、環境に配慮した施設整備を推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 専門的な技術研修の受講や資格取得に積極的に取り組む。 耐震化や長寿命化、バリアフリー、省エネ等に配慮した建物の施設整備に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 公共建築工事積算講習 14名 建築物石綿調査者講習 7名 施工管理講習 4名 建築工事監理研修 1名 木造公共建築研修 4名 ZEB研修 (Web参加)

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 岸井 清市

市民の声を活かし、地域の資源を活用しながら魅力あるまちづくりに取り組みます。

地域振興課 設定者 課長 上原 規寛

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
自治会と協働による事業を推進する。	自治会連合会との連携による市民活動の支援	自治会内のコミュニケーションの場を増やすため、各地域での活動を支援する。	地域で活用できる制度等の提案をする。	・コロナ禍で中止していた自治会長集会を実施し、市の助成制度や、自治会連合会が補助する活動助成金・活性化助成金の説明を行い、各地域での活動を支援した。
自主防災組織の強化、活性化を推進する。	・自主防災組織の再構築 ・自主防災組織を起点にした安全な避難行動の周知	・活動停止の自主防災会を再結成する。 ・早期に避難行動する住民の増加を図る。	・活動停止の自主防災会に対して再結成支援を実施する。 ・早期避難の重要性の研修を行い、各世帯での避難カードの作成を促進する。	・自主防災組織の再結成に向けて母体の6自治会と協議を進め、うち3自治会が合同で来年度再結成に向けて協議を進めることとなった。 ・避難カードや説明資料を作成し、自治会や班単位で説明会を12ヵ所実施した。
消防体制の充実を推進する。	火災・災害発生時の即応体制の維持強化	多発する災害等に対応する能力を高める。	年1回の方面隊訓練、各分団で火災最先着隊を想定した放水要領の訓練への協力をする。	消防団方面隊訓練や各分団の点検時に放水要領訓練を実施し、必要な資器材整備を行った。
住宅環境の改善を推進する。	住宅環境改善支援事業（県事業）の推進	利用者を増やすことで、より快適な住環境を整える。	事業の周知を実施するとともに、相談受付事務を円滑に行う。	事業の対象区域が拡大して2年目のため、前年に比べ申請件数は約4割減少したが、チェックリストやマニュアルの更新を行い、相談受付事務を円滑に行う環境を整えた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 岸井 清市

市民の声を活かし、地域の資源を活用しながら魅力あるまちづくりに取り組めます。

市民福祉課 設定者 課長 村重 和美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民が気軽に相談や申請が出来る窓口サービスを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 来庁者への挨拶の励行と声かけの実施 来庁者の目線に沿ったサービスの提供 	<ol style="list-style-type: none"> 来庁者に挨拶や声かけをすることで、気軽に相談ができる窓口サービスが提供される。 わかりやすく丁寧な接遇により、市民の窓口サービスへの満足度が向上する。 	<ol style="list-style-type: none"> 職員全員が来庁者に積極的に挨拶と声かけを行う。 わかりやすく丁寧な説明・接遇に努める。 	来庁された方に対し、積極的な声掛けを行うことで、速やかに必要な申請窓口を案内することができた。
市民が安心して相談が出来る行政サービスを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護の徹底 担当業務の知識の習得及び迅速で適正な事務処理 	<ol style="list-style-type: none"> 個人情報の保護管理が徹底されることで、市民が安心して相談が出来る。 職員の資質・知識向上により、市民が安心して相談や申請を行い満足感を実感できる行政サービスが提供できる。 	<ol style="list-style-type: none"> マイナンバー等が記載されている書類の取り扱いは、複数員で確認をする。 研修会等には積極的に参加して、知識の習得と理解を深める。 課内で派生した課題等の情報共有に努め、解決や改善について協力して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 書類の取り扱いや証明書の交付等について複数人での確認を確実に行うことで、個人情報の保護を徹底することができた。 制度やシステム改修等の研修会に職員が積極的に参加することで、知識の習得を図り適正な事務処理を行うことができた。
市民や地域団体等と連携し、生活環境の保全や環境美化の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 町内一斉清掃等の活動への対応 不法投棄廃棄物への対応 	<ol style="list-style-type: none"> 町内一斉清掃等の活動を支援することで、地域住民の環境保全に対する意識が向上する。 地域団体等と連携して不法投棄廃棄物の撤去を行うことで、環境美化が推進できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 自治会連合会主催の町内一斉清掃で回収した不燃物の処理場搬入を支援する。 環境衛生連合会に不法投棄廃棄物のパトロール及び回収を委託し、処分場搬入を支援する。 	地域の清掃活動や、環境衛生連合会による不法投棄廃棄物のパトロール及び回収作業に支援を行い、生活環境の保全と環境美化を行うことができた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 岸井 清市

市民の声を活かし、地域の資源を活用しながら魅力あるまちづくりに取り組めます。

農林建設課 設定者 課長 岡崎 勝則

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域の実情に応じた効果的な施設の維持管理を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設のパトロールの実施 ・ 市民協働による生活道路や公園の維持管理の推進 	<ol style="list-style-type: none"> ①公共施設の安全性と利便性が確保される。 ②地域において互いに助け合う快適で住みよい地域社会となる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①定期的なパトロールによる公共施設の保全管理を行う。 ②自治会単位で自主的に地域の公共施設の草刈及び清掃活動の定期化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的なパトロールと市民からの情報提供により、公共施設の状態を把握し、速やかに処置することで施設を健全な状態を保ち、事故を防いだ。 ・ 公共施設の清掃や草刈りを地域住民に呼びかけ実施してもらい、作業により出た草やごみは職員で回収し、公園や緑地は職員で作業し環境整備を行った。
近年拡大している鳥獣被害を防止するため有効な施策の実施を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣被害の防止と駆除 ・ 耕作放棄地の発生防止 	<ol style="list-style-type: none"> ①鳥獣被害の防止と駆除のための支援を推進する。 ②中山間地域の集落単位等での共同活動による保全管理と保全活動を促進する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①小型箱罠の貸し出しと対策補助制度の周知 ②地元猟友会との協力体制の強化 ③中山間地域の共同活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有害鳥獣の目撃情報を基に、現地確認のうえ猟友会にパトロールや罠の設置を依頼し、GISに出没個所を入力することで情報の見える化を行った。 ・ 小型箱罠の貸し出しや補助制度を支所だよりに掲載し、貸出及び周知を行った。 ・ 中山間地域の共同活動に係る補助金の事務手続きを支援し、農地の保全管理と保全活動を促進した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 竹原 直美

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

地域振興課 設定者 課長 藤岡 達也

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域住民の自主防災に対する意識を高める。	自主防災組織や自治会等が行う防災活動の支援、緊急情報伝達手段の周知に努める。	<ul style="list-style-type: none">各地域で開催される研修会等への講師派遣防災行政無線戸別受信機設置数の増	各種研修会等の機会を捉えて、防災講話を実施するとともに、防災ラジオや、市民メール等の活用を周知する。	<ul style="list-style-type: none">単位自治会が実施する防災訓練（研修）や婦人会等の団体が実施する防災研修会に積極的に出向いて防災講話を行った。その際に緊急情報伝達手段について周知を行い、防災ラジオや市民メールの普及に努めた。 ※令和5年度防災ラジオ申請件数：45件（R4年度：20件）
地域交通の利便性向上	生活交通バスの利便性向上に向けた取り組み。	住民の要望などを参考に、地域の状況に沿った運用への見直し検討を行う。	<ul style="list-style-type: none">日曜運行（実証運行）の結果を基に今後の方針を検討する。運行経路の変更等、地域からの要望に対する検討、調整。	<ul style="list-style-type: none">令和5年4月～9月に生活交通バスの日曜日実証運行を行った。検証結果は、全路線とも目標（1便あたり1人以上の乗車）に程遠く、通常の平日運行のほうが利便性が高いという判断から、日曜日の本格運行は行わないこととした。その他、地域からバスの路線や時間の変更要望が出され、その都度住民や運行业者と協議を重ねた。様々な要因からいずれも要望どうおりにならなかったが、その理由について丁寧に説明し、理解を得られた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 竹原 直美

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

地域振興課 設定者 課長 藤岡 達也

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
自治会および地域との連携	自治会や地域の活動を支援		<ul style="list-style-type: none">・地域で活用できる制度等の提案・自治会との情報共有	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナの影響を考慮し、自治会連合会総会は今年度も書面開催としたが、先進地視察研修は実施した。・自治会連合会理事会については通常どおり3回開催し、市からの情報を漏れなく発信するとともに、より効果的な意見、要望の集約場とするため、地元の市議会議員（2名）の同席のもと意見交換会も実施した。
	地域おこし協力隊活動の推進、連携	協力隊員の活動と地域住民、団体との交流を推進	協力隊員の地域活性化等に向けた取り組みへの支援、連携、情報共有	<ul style="list-style-type: none">・相生地区に集落支援員と地域おこし協力隊員を1名ずつ配置しており、地元住民や団体と連携して地域の活性化を目指す取り組みを行っている。・地域振興課と相生出張所が地元との橋渡しとなり、助言等を行いつつ、スムーズな活動が行われている。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 竹原 直美

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

市民福祉課 設定者 課長 上田 勝久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民が満足できる接遇と適切な対応	<ul style="list-style-type: none">丁寧な市民サービスの提供職員間での情報の共有、関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none">市役所窓口での市民が満足する行政サービスの提供情報を共有し、職員間、関係機関で迅速・適切な対応を行う。	<ul style="list-style-type: none">丁寧で優しい接遇を心掛ける。通路、窓口の来庁者へ注意を向け、声かけを行い市民が迷わない対応。担当業務のスキルアップをし、市民に分かりやすくできるようにする。	<ul style="list-style-type: none">年間を通じて、窓口対応はしっかりできていた。通路、窓口付近の来庁者への声掛けもできていた。スキルアップについても積極的に研修への参加ができた。
市民、各種団体、関係機関と連携して生活環境の保全・美化を推進	町内一斉清掃等の清掃活動、不法投棄廃棄物への対応	<ul style="list-style-type: none">生活環境の保全・美化の推進不法投棄パトロールの実施	<ul style="list-style-type: none">市民、各種団体の協力や情報提供等により実施定期的な不法投棄パトロール、週2回	<ul style="list-style-type: none">苦情の処理や情報提供についても、早く処理ができていた。パトロールも問題なく実行できた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 竹原 直美

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

農林課 設定者 課長 向原 英昭

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
農林業後継者や担い手を確保するとともに、農地等の多面的活用を目指す。	農林業者や農林業各種団体及び関係部署と連携した施策の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・経営安定に係る諸施策の研究・活用 ・新規就農者の確保 ・休耕田等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プラン（地域計画）で定めた中心経営体との連携・支援 ・耕畜連携の推進 ・就農相談及び関係団体と連携しての支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画策定に向け、中心経営体や土地改良区など農業関係者に向け、地域内6か所で説明会を開催した。 ・就農相談はあったが、新たな新規就農者確保には至らなかった。
食肉施設の安定的かつ安心安全な運営・支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉施設の機器点検・整備及び衛生管理の徹底 ・食肉流通センター及び汚水処理施設の建替えを考慮した施策の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な運営と安心安全な食肉の供給 ・周囲の環境に配慮した施設運営 ・老朽化施設の改修及び建替え等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の日常点検・定期点検を確実に実施・ハサップに基づく衛生管理の徹底 ・流通センター及び汚水処理施設の改修及び建替え等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んだ施設の建替えに係る協議を進めた。 ・ハサップに基づく衛生管理を行うため研修や講習会を行った。 ・作業効率を上げるため、設備の改修を行った。
所管する施設の安全対策を徹底し、利用促進を図る。	所管公共施設の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・常時安全に利用できるように管理 ・利用者目線での維持・運用 	住民からの要望等に合わせた計画的な施設の維持・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・管理施設における危険箇所や、危険設備などの修繕や更新を行った。 ・利用者のニーズに対応できるよう関係団体と協議を進めた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 竹原 直美

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

建設課 設定者 課長 森本 真史

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
防災上の観点を含め、当課が所管する市道や河川の維持管理を適切に行うことにより、安心・安全な住環境の保持に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 市道、河川の適切な維持管理 市道、河川の緊急時の迅速対応 	<ul style="list-style-type: none"> 市道や河川等のパトロールを計画的に行い、適切な維持管理に努めます。 市民からの要望等に対して迅速に対応し、問題の解決に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市道や河川等のパトロールを毎月2回以上実施し、応急的な対応が必要な場合は迅速に対応します。 異常気象後は速やかにパトロールを実施し施設の機能保全に努めます。 	当課所管の市道、河川等について、確実なパトロールや寄せられる要望等の的確な対応により、事故の発生を防ぐ事が出来た。
当課所管の下水道（集落排水、特定排水）や公園など施設の維持管理を適切に行うことにより、住み良い環境づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 下水道（集落排水、特定排水）の維持管理 公園施設の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道施設について緊急時対応可能な体制を維持します。 公園の遊具や設備の点検を計画的に行い、適切な維持管理に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道マンホールポンプ等においては、緊急な対応が必要な場合は、迅速に対応します。 公園の遊具等の点検を3か月に1回以上実施し、緊急的な対応が必要な場合は迅速に対応します。 	マンホールポンプ等の下水道施設の管理については、発生する異常に対し、迅速・的確に対応出来た。 管内公園施設においても、定期的な点検を実施し、異常箇所を発見した場合は的確に対処し安全に利用できる施設として提供出来た。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 竹原 直美

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

玖珂支所 設定者 支所長 藤本 慎司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域づくりの意識を共有し、協働のまちづくりを推進する。	地域活動の支援や参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの機運醸成 ・地域による自主的なまちづくり活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会連合会と連携を図り、地域における課題を検討する。 ・地域づくりの協働推進のため、各種サービスの積極的なPRや研修会等への参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題を自ら提起、解決できるよう新たな組織である「地域づくり協議会」の発足を模索・検討しており、自治会長（22名）を対象に先進地（下関市）視察研修を実施した。
地域住民が自ら対応、行動できる防災意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災アドバイザーの養成支援 ・防災教育研修会等の開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等に自らが対応、行動できるよう意識を高め、安心・安全を確保する。 ・防災アドバイザーによる地域支援を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学生・中学生を対象とした防災教育研修の開催 ・地域住民を対象とした防災体験研修の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・玖珂幼稚園（5名）、玖珂小学校（88名）、玖珂中学校（93名）を対象に防災教育研修会を、単位自治会長・自治会防災委員（69名）を対象に自主防災リーダー研修会を開催した。また、今年度は新たに地域住民を対象とした、親子防災教室（親子40名）を開催した。
支所の窓口サービスを、円滑・迅速に提供できる接遇を実現する。	接遇の向上推進	<ul style="list-style-type: none"> ・案内待ちが無いような窓口対応 ・支所のワンフロアを生かしたワンストップ窓口サービスの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口案内表示の検証 ・接遇研修における職員のスキルアップ ・支所部署内の業務に対する連携意識向上のため、情報共有をしっかりと図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玖珂支所では窓口における接客をワンストップで実施できるよう各班で連携を図り業務を執り行うよう心掛けている。接遇研修等に基づき、来客者に積極的に声掛け等をし、窓口業務を含め施設の案内を円滑に実施した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 的場 敏

都市や周辺地域との交流を図り、笑顔で溢れるまちづくりを推進します。

錦総合支所地域振興課 設定者 課長 田中 英司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域住民による意欲的なコミュニティ活動の推進	地域活動の支援と参加促進	<ul style="list-style-type: none">・地域づくりに関する事業件数の増加・地域活動の担い手の確保、育成	<ul style="list-style-type: none">・市民や市民活動団体が地域づくりに参加する機会の提供・地域課題解決への取組支援やコミュニティ活動の機運醸成・移住応援団との連携を強化、移住定住を促進	<ul style="list-style-type: none">・地域ささえ愛交付金事業を活用した環境づくりにおいて、継続的な活動を見越した事業や外出者を取り込んだ事業に取り組んだ。・24自治会に地域情報を聞き取った。また、1自治会に対し集落点検を実施、結果を地域で共有し、課題解決の機運が醸成された。
多様性のある体験交流事業の推進	体験交流の企画と誘致	交流人口の増加	<ul style="list-style-type: none">・やましろ体験交流協議会と連携した体験型旅行の企画と誘致・多様な体験企画や地域どうしの結びつきの創出	<ul style="list-style-type: none">・家族や小学生等を対象に体験イベントを実施し、233名を受け入れた。・地域資源を活用した新たな体験企画を実施した。・関西地区で誘致活動を実施した。
観光施設の適切な維持管理と地域観光の魅力向上	観光施設を健全に運営できる環境の整備	観光施設への訪問者の増加	<ul style="list-style-type: none">・各種事業を活用した施設整備・施設有効活用策の検討・地域おこし協力隊によるグリーンツーリズム等の情報発信	<ul style="list-style-type: none">・管内の観光施設等への訪問者が前年との比較で15,658人(107.7%)増加した。・観光施設を安心快適に利用できるよう、適宜修繕等を実施した。・地域おこし協力隊による協力隊通信やSNS等で地域の魅力を内外へ発信した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 的場 敏

都市や周辺地域との交流を図り、笑顔で溢れるまちづくりを推進します。

錦総合支所市民福祉課 設定者 課長 藤井 一嘉

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
接客能力及び事務処理能力の向上を図り、市民が満足し、納得できる対応をする。	窓口対応マニュアル及び業務マニュアルの充実と共有	<ul style="list-style-type: none">・来庁者のニーズを的確、迅速に判断し、担当班、担当者に引き継ぐ。・課員全員が班の垣根を超え、課内業務全般について把握している。	<ul style="list-style-type: none">・来庁者に対する声掛けの意識を向上させる。・各班の業務マニュアル等を最新の状態に維持し、わかりやすく整理することで共有しやすくする。 班内検討会（4月～3月） 課内検討会（10月～3月） 成果報告（12月～1月）	<ul style="list-style-type: none">・班を超えて来庁者への声掛けはできた。・業務マニュアルは、課員・班員が共有できる課内共有フォルダにまとめ、探しやすいよう日々更新を重ねている。・来庁者の傾向からその時期に取り組むべき課題を推察し、各班内で共有。窓口でのコミュニケーションがうまくいくよう、先回りして準備できた。
市民や関係機関等との折衝記録をわかりやすく整理して記録し、各班内で共有する。	各班内で情報共有できるファイル管理方法を研究し、整理活用する。	記録した情報を正確に引き継ぎ、継続中の手続きや折衝などをいつでも誰でも速やかに活用できる。	<ul style="list-style-type: none">・取組中の案件や折衝記録を共有できる保管方法を研究し、整理活用する。 班内検討会（4月～3月） 課内検討会（10月～3月） 成果報告（12月～1月）	<ul style="list-style-type: none">・各班ごとに情報を共有できるファイルを活用している。これにより、担当者不在でも折衝中の記録を確認することができ、だれでも対応できるようにしている。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 的場 敏

都市や周辺地域との交流を図り、笑顔で溢れるまちづくりを推進します。

農林建設課 設定者 課長 坂本 泰司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
農林業の担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> 担い手農家の支援 新規就農者の支援 	農家の営農が安定して行われている。	<ul style="list-style-type: none"> 農業再生協議会事業の推進 玖北地区協議会を通じての営農支援 	再生協や玖北協議会からの情報周知に注力したが、産地交付金申請が微減するなど農家の経営は厳しい状況である。
農村の生活環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 直接支払制度の活用 鳥獣被害防止の対策 間伐等の施業による林地の整備 上下水道の生活環境整備 家畜の衛生安全の対策 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の増加が減少する。 農作物の鳥獣被害が減少する。 荒廃林地の増加が減少する。 上下水道が適切に管理されている。 畜産農家の経営が安定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 直接支払制度の周知推進 鳥獣害防止対策補助金の活用推進 作業道維持事業への取組 水道管理組織への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 集落協定数は維持され、鳥獣被害報告数は減ったが、耕作面積も全体的に減少しており厳しい状況である。 上下水道については災害の影響が小さかったので適切に管理が出来ている。
農林業を活用した交流促進	<ul style="list-style-type: none"> 女性農林製品加工組織への支援 農業体験交流施設の活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> 女性グループが活発に活動できる。 体験交流施設を中心に交流活動が盛んにおこなわれている。 	体験交流施設利用者の支援組織と連携し、活性化に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 農林業に取り組む女性グループの活動が継続的に出来ている。 体験農園施設が空室なく活用できており、また中学生の農業体験交流活動を実施した。
生活道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールの実施 市道の安全施設整備の実施 	生活道路が安全に通行できる。	道路安全施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 市道に関する情報や要望が58件あったがほとんどを処理できた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 的場 敏

都市や周辺地域との交流を図り、笑顔で溢れるまちづくりを推進します。

錦総合支所美川支所 設定者 支所長 下村 豊

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
農業体験や観光交流を推進し 交流人口の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none">観光施設整備の適正化。観光事業の実施団体と連携した観光の推進。地域住民主体で実施する交流事業の支援	観光交流、農業体験交流などの都市住民との交流が増加することで、地域が活性化する。	<ul style="list-style-type: none">根笠地域の観光施設の整備美川開発との定期的な協議を実施するなど連携を強化し、根笠地域の観光を推進する。地域住民主体の農業体験などの都市住民との交流事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none">大水車「でかまるくん」周辺の観光施設整備を地域おこし協力隊員を中心におこない、来場者の大幅な増加につなげた。また、美川開発との定期的な協議を実施し、地域おこし協力隊員の導入を協議するなど観光振興を進めた。地域活動組織の活動支援を集落支援員中心におこない、農業体験イベントなどでの地域内外の交流人口増加を図った。
質の高い窓口サービスを提供する。	美川支所内での情報共有の促進と業務能力の向上を図る。	支所来客者に丁寧で確かな対応により満足いただけるサービスを実施する。	美川支所内の班内会議などの各所会議や協議を積極的に実施し、情報共有を図るとともに、業務連携、協力を促進し、職員の業務能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">部署内での会議、協議を定期的実施するとともに、地域イベントや協議会など地域住民、関係組織と連携する場を積極的に設けて、職員の能力向上を図り、質の高い窓口サービスの提供に務めた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

地域の課題解決のため市民目線で取り組み、市民と協力し「暮らしやすいまちづくり」を推進します。

美和総合支所地域振興課 設定者 課長 宮本 宜明

課の使命又は目指す姿【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域づくり支援機能を強化し、市民との協働により地域の諸課題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> ・集落支援事業 ・市民協働による移住定住の促進 	<p>①集落支援員を中心に旧小学校エリアでの地域活動を支援することで、広域で支えあう仕組みづくりが構築される。</p> <p>②各地域の移住応援団と協働し移住定住の促進（空き家バンク）に積極的に取り組むことにより、地域活動の担い手が確保され、集落機能の維持が図られる。</p>	<p>①夢プランの実践による活性化に取り組んでいる地域は、持続可能な活動になるよう支援する。また、新たな集落支援員による支援地域・支援方針を決定し、支援を開始する。</p> <p>②移住応援団と協働し、空き家情報の収集と調査を進める。</p>	集落支援員を中心に下畑地区、長谷地区の夢プランに基づく地域活動の支援を実施し交流人口が増加した。また、新たに阿賀地区と秋掛地区の支援を開始し、今後の支援方針を決定した。移住定住については、美和地域10か所で制度説明会を実施した。その結果、空き家登録4件、成約3件となっており、9名の移住者を受け入れることができた。
生活交通バスが便利で利用しやすく将来にわたり持続可能なものとするために運行の適正化を図る。	生活交通バス運行最適化	住民アンケートや乗降調査で把握した住民ニーズを反映した生活バス路線再編が行われることにより、将来にわたり持続可能な公共交通となる。	<p>①美和地域生活交通バス路線再編計画(案)を各地域で説明する。</p> <p>②各地域の意見を踏まえて計画を修正し、自治会連合会役員会に諮り計画を確定する。</p>	アンケート調査や説明会を開催し、住民ニーズを反映したバス路線等の再編計画を作成することができた。令和6年4月から新たなルート・時刻により運行を開始する予定である。
弥栄湖を中心とした観光拠点の充実により交流人口の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点地域の活性化 ・観光から移住へとつなげていく取組 ・地域おこし協力隊派遣事業 	弥栄湖周辺施設の機能向上及び外部人材の活用による魅力的な観光拠点づくりを目指すことにより、観光客数や関係人口が増加する。	<p>①レイクプラザやさか利用者の安全性・利便性の向上を図るため大規模な施設改修を実施する。</p> <p>②地域おこし協力隊員を配置し、改修後のレストラン・売店の新たな運営やレイアウト等を検討する。</p>	レイクプラザやさかの大規模改修を実施した。また、地域おこし協力隊員を配置し、令和6年4月のリニューアルオープンに向けて新たな運営方針や地元産食材をアピールしたメニュー、館内レイアウトなどの提案を行った。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

地域の課題解決のため市民目線で取り組み、市民と協力し「暮らしやすいまちづくり」を推進します。

美和総合支所地域振興課 設定者 課長 宮本 宜明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
防災意識の醸成を図り、災害時に迅速に対応できるようにする。	市民協働による自主防災事業	各地域で避難計画や緊急連絡網を整備することにより、互助・共助機能が発揮され、災害時に迅速に対応できる。	①自治会連合会と連携し、各地域の緊急連絡網の作成・更新を行う。 ②地域防災についての研修会(自治会長研修会)を開催する。	自治会連合会と協働し、各地域の緊急連絡網の作成支援を実施し、これまでに61自治会のうち48自治会の緊急連絡網の作成支援を行った。また、西畑地区で地域防災講座を開催した。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

地域の課題解決のため市民目線で取り組み、市民と協力し「暮らしやすいまちづくり」を推進します。

市民福祉課 設定者 課長 村重 典則

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
来所者が満足いただける接遇・信頼いただける個人情報等保守	<ul style="list-style-type: none">・来所者への挨拶の励行と声掛け・来所者目線に沿ったサービスの提供・個人情報等保守・マイナンバーの厳格な取り扱い	<ul style="list-style-type: none">・来所者が満足いただけるサービスが受けられる。・市民が安心安全に暮らせる。・班単位で業務を行うのではなく、全課員で対応する。	<ul style="list-style-type: none">・来所者には、速やかに挨拶、声掛けを行い、用件を把握する。・来所者の目線に立って、解りやすく端的に説明をする。・個人情報が記載されている証明書や申請書を交付する際には、申請者ご本人にも内容を確認していただく。・マイナンバーが記載されているものは、必要性の有無を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・来所者満足向上については、挨拶・声掛けを心掛けた。・改善策として職員相互で注意喚起を行った。・改善例としては、総合支所敷地内に人影が見えると職員に来所者を周知させた。 また、スムーズな対応のため資料の整理整頓に努めた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

地域の課題解決のため市民目線で取り組み、市民と協力し「暮らしやすいまちづくり」を推進します。

農林建設課 設定者 課長 高辻 英明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域農業を支える中核経営体や担い手の育成・支援	中核経営体や担い手農家の支援と育成	中核経営体や経営意欲の高い担い手への重点指導により経営基盤の強化を図るとともに、組織間の連携支援により経営の安定化を図る。	集落営農法人等パートナーシップ協議会において、各農業法人が抱える課題解決や、経営安定に向けた取り組みを支援する。	定期的に開催している、集落営農法人等パートナーシップ協議会において、県や農協と連携し、支援策等の情報共有を図ることや、組織間の連携に努めた。今後も中核経営体や担い手の支援育成に努める。
地域特産物「岸根ぐり」の産地再生支援	地域特産物の生産振興	地域おこし協力隊員や関係団体と協働して生産基盤の強化に取り組み、地域特産物「岸根ぐり」のさらなる生産技術のレベルアップを図り、担い手の確保と安定生産により出荷量を増やす。	市で管理する母樹園を活用して、「岸根ぐり」の優良系統樹の保全に努め、くり生産組合員と協働して産地再生に向けた取り組みを行う。	「岸根ぐり」の産地再生に向けた取り組みを目的に地域おこし協力隊員が母樹園や再生した耕作放棄地を活用し、優良系統樹を保全するため苗木づくりから、接ぎ木を実施するなど、生産基盤の強化に努めることができた。今後も引き続き美和町くり生産組合と協働し、産地再生に取り組む。
生活道路の安全性と利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・市道（生活道路）整備・改良の推進 ・交通安全施設整備の推進 ・道路パトロールの実施 	道路の危険個所等、早期発見のための巡回点検を実施し、適切な維持管理に努める。	<p>日常のパトロール、点検の強化により異常個所の早期発見、早期対応に努める。</p> <p>また、市民からの要望や苦情に対し速やかに対応する。</p>	市道や林道等のパトロールを強化し、異常個所の早期発見に努め、早期対応することができた。また住民からの通報があれば、速やかに現地確認し対応することができた。

令和5年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

地域の課題解決のため市民目線で取り組み、市民と協力し「暮らしやすいまちづくり」を推進します。

本郷支所 設定者 支所長 亀弘 典久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組を目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域での住民サービスを維持するため、職員が連携・協力し、地域に必要な施策を推進する。	<ul style="list-style-type: none">・支所内の連携協力体制の推進・地域活力の維持・地域住民との協働の推進	<ol style="list-style-type: none">①支所職員が支所内の業務を把握し、対応できるようにする。②支所職員も現状の地域の事情を把握する。③支所職員と地域住民の協働による活性化・振興策を実施する。	<ol style="list-style-type: none">①支所内の2班（地域振興班・市民福祉班）が連携し、業務効率化に向けて取り組む。②職員一人ひとりが、地域の今の現状について把握し、改善策等を考える。③地域行事や地域活動について、各種団体及び地域住民とともに企画運営を実施する。	<ol style="list-style-type: none">①支所内2班が連携（庁舎管理を市民福祉班で実施するなど）し、業務の効率化をした。②職員一人ひとりが、地域の現状や課題を把握し、改善策を考え、外部人材の登用など今後の取り組みに繋げた。③4年ぶりのイベント開催は、実行委員会の各種団体及び地域住民とともに企画運営し、夏と秋ともに盛会裏に実施できた。地域活動についても、自治会連合会・ささえ愛協議会と連携協力した。